NOTE BOOK

1953 — 1957 - 58

BBB

BBB

A

5

INDEX

E		PAGE	

INDEX

PAGE		PAGE	

一九五三年（昭和二八）

一月二十日

「明日報」掲載の春の「新婦人限今時代」新年の
春 持よに送られ、伊東浴泉、目黒書房別荘
に来る。遠れ四産年の静かな部分に落付く。
持よは翌日帰京。

一月二十六日、高良女史を除き引揚代表国分兼翔田士蔵。
平和のと独立の教育体制を目さす日教組
主催の第二回全国教育研究大会、二十
五日朝九時より四日目高知市中央公民
館で開かれる
庫上失内原東大総長の「平和と教育」
と題する講演の要旨。
「大会のテーマは「生産と教育」ということで
あるが、自分はこれに更に生活ということを
のれたい。

▽今度の大会のテーマは生産と平和ということだが、私はこれに生活ということを入れたいと思う。生産のための教育ということには職業的技術の指導と一般的普通教育との二つがあるが、後者は要するに民主的人間の育成という問題だと思う。その意味は自己の責任を重んじ、労働を尊ぶ精神であって奴隷的労働と自主的労働の差である。このような労働精神を教育することがわが国の労働生産力の発達の一つの重要な条件である。生産のための教育ということは一口にいえば民主的社会をつくりあげる問題であって、日本の民主化、ことに農村の近代化のためには教育が概念的なやり方ではダメで、生活にしみ込んでゆく教育でなければならない。

▽平和のための教育ということは要するに民主的社会をつくりあげる問題である。教育はその環境として平和の世界を必要とするし、また教育の目的は人間の品位と権威を発揮するものだから当然それは平和の世界をつくることを目的とする。いま世界の平和は危機にあり日本の危機もそこから生れてくる。日本の再軍備問題は世界の危機の中において考えられねばならない。世界の危機の解消が日本の危機の解消の根本問題である。世界的危機の解消のために日本が寄与し、貢献する道は日本が平和の立場を堅持することがと思う。

一月三十日（前日）塚と明坊迎えに伴東に来て
くれ、連れ立って十一日ありで我が家へ
帰る。

二月七日、家の先と川崎なつ姉に原稿
郵送す。今和与又「新潟現象紙」
の執筆にとりかゝる

"調査すむまで実験中止"

国際科学者会議で 湯川博士が提案

"死の灰"問題について科学的検討をおこなう国際科学者会議は七日、カナダのパグウォッシュで十か国、二十二名が参加してひらかれたが、第一日に湯川秀樹博士は、日本平和アピール七人委員会（湯川秀樹、茅誠司前田多門、下中弥三郎、植村環平塚らいてう、上代タノの七氏）が同会議におくったアメリカの"キレイな水爆"論を非難し、米英ソ三国が一致して原子兵器を禁止することを要求したメッセージを発表するとともに、つぎのような提案をおこなった。

われわれ科学者のねがいは、原水爆の全面禁止だが、その第一歩として、実験継続が安全かどうか調査・研究がおわるまで原水爆実験を中止し、もし実験が有害とわかれば、ただちに全面的禁止を申合せすることを提案する。

六月六日

世界婦人大会（スッペンハーゲンにて五日より十二日まで開催）
に日本婦人代表十名 [illegible] 派遣、手旅券やう
やく今日午前交附来、午后六時 羽田空港より
代表中の一名 森松俊子氏だけ先に発表される。婦人
[illegible]の川田[illegible]さん 車を家へ迎えて 迎いに来て下さるとの
電話あり、大森発で羽田まで森松氏を見送り
に行く。川田、塚文子の両氏と車を大に走らせたけ
れど、ほんの五、六分のところで間に合はず、飛行機の
爆音だけをきく。残念だつた。しかし羽田空港を
見学出来たのは幸である。（一部 [illegible]）
以前十一時、第二陣として野宮、高田氏出発
十日午后六時 千葉、羽仁、遠藤、高橋
高良（全嬢）柏木 小笠原 浜田 湯氏
の第三陣出発のはず。
世界大会 平和会の小川智子、梅田、小川芳子
羽仁氏 秘書の藤田という若い娘さんなど [illegible]
見送りの連中に同乗して、家まで送られて
帰る。
高良さんは羽田に娘さんと一緒に見えていた。
代表派遣について共産党の方が指導権
をとつたとソフて [illegible] 戒の言葉を
私にもらした。
[illegible]六枚大会のために前和かいたものを

今朝見えん野宮氏に托す、代表者として感じ
は吐き捨す。

六月三日

大会の猪名部氏三浦一郎（ヘンネム三村光郎）
に招かれ、エスペヤ人、牧師フランクリー夫妻とまれ出さん
それにランダウ氏夫妻の五人を囲むんでの座談会
に出席す。陪史とは道。陪は公式別館で開かれ
出に伊佐男出席あり出席れる、伊与大本主催
の会合であった。通訳は藤沢親氏。
猪名部はつなのフランクリー氏の話、無理にきかれん、
エスペヤ語は今迄戒律や儀式のみやかよい字
数のやうに思ひていたが、フランクリー氏のお話で
エスペヤの根本の意味の精神は意味は言語
や文字で表現出来るものでなくて、伊与不立
文字で説くことは出来ないのだと述べられた
ことは改せるのは道徳的、宗教的な原則なので
す、と。しかし異民族間に接続するようなもの
がエスペヤ語であるのかと訊ねられ、それ
に答（答えの）、「海のような表現をしたら
海の如く海の隣人を言せ」と創生記第五
章第一節をテレキヒとしたのである。
エスペヤ語のつなぎのつとめきくたかつまってるが、フランクリー
夫妻の後は残り和語して、義澤氏が人生の意
義の陪を言う法をとる云うて、祈祷に

為の時をさそしまった。惜しい気がした。
エスペヤ語のつなぎ、エスペラントのつなぎ
をしてはどうだろう。
大本本部の陪所の室川宮氏いい方
だった。他日再押印の人員あり。

六月二十九日

世界婦人大会代表報告会準備会の
ニュースに原稿（二枚）書く。「天の下成る
ものは」と題する。

七月一日

世界婦人クラブ傍聴の件で町田管理と
いう青年の人来訪する、長時間クラブ傍聴に
関し、相談を受ける。

三日　日中友好協会の事務局長小沢正元
氏来訪。明後日の顧問引受ける。
夕刻より下北沢オデオンへ芸団めぐ
り戦争を一人で見に行く。

七月十六日

はじめて鶯の声をきく、千葉県
梅和期長く
まだ雨こそ降らないが、そんなようなもの
うっとうしく、いやな涼しい。

七月○日　世界連邦建設同盟の陪事会に出席、久氏の糸口に中毒はけしいと劇で表明する

八月初旬（一日の）から月末日まで代々木上原の病院に入る。
氏の長生法指導の病院に入る。絶対的食養
実行・体質改造にかゝる

十月二十一日

八日以来の汗晴で、のびくいなつてゐた和板高原の紅葉観賞行き、今日やつと実行出来た。

屋近くまで出て、和田峠行で、峠迄送られて、出す、三時半過、高原いつぱい。湯ものぞき、湯ものぞき、湯ものぞき、山麓まで宿ノ下て降る、宿ノ下駅迄、行きでは乗れない食糧大のトラックが駆ける、になつているからである。和田峠はそこまでしか道路がなく、祝直しないとうつので、特知を乞み取り、そこから湖底のバスに乗り杉石原停留所二つ先、高原ロ下車、紅葉の別荘はすぐ近くである。仙石原外れの高原気分で、紅葉がとろとろ。位置には未だ早い。

但、紅葉の丸い、曲線の美しい山の裾野は三枚の日が上つた、仔とゆう静けさ。

高原の色合はとろつて、山すそこくなとりつのれり、ゆかんしよばくしん老人で中気の傾きみがにのきき方は峠でない。しかし、静かな人柄で、気がおけない、とる。

ちのかいとおもう。

仕事をすれば仕事だ。

仕事をすれば仕事だ。

なんはる強いで。

二十二

紅葉の好り和、秋、高おむすび、みは箱湖風行きバスに乗る。浅瀬で姫丸で箱根所に行き、

旧跡所をを見、（そこのべ二年でおむすびをつの）元箱根に又船とる（箱根関所に、おす年ちでお話りする。女学校五年生の夏、市原公園えと一緒に、和田原十字所の傾斜から、箱根に逃げ、旧街道を伝つて来つたときは来はじめて箱根様に来たわけである。

あつた杉の木立は昔と変らないが、お宮しも新しくなつているようだし、町の賑やかさは比較にならない。世の湖畔の紅葉はよいけれど、船はさ程こまず、ゆゆくまで眺めて楽しんだ。秋の昔の陸がいくつも湖の面すれすれに浮んでいるのがよわれほく、かわんてる。

芦城のお伺いの鉛筆画家の古刹に湖面の浅瀬の中で信号一点点よ。

紅葉の湖の面を低くとぶ小鳥

山上の湖

紅葉の昔のあわき

紅葉のようにに昔笛の陸をかう。

二十三、曇り、昨日高原に行く。

よく新しい仕事の日頃のつき秋雲

にとりする、花瓶の言をきく

二十四、雨、雨降りかく、目の前の台の山しか見えない。

仕事始。土産に野菊を飾と

とりに出る。野菊、りんどう、ちさこ、あきみを野の花を部屋にいける。

留守番の奥さんが庭菊の美しい花を頂く

色の変りの中が花で咲くそうな。

花ひとり移れば、秋深し。多分すぐ近くの高田温泉に行く。硫黄臭が強く、ちょっと、きれいなので、ゆっくりしないのでのんびりとしている。

○福田孫寿の奇特な事の行きさつを聞くこと

○宮さひしぎさのそのうち出来ること、わたくし自身の性にかなつた生きかたのように思える。

○石山賢吉氏の件

○女の世界の解体新書の件

○最後の勇者、角男氏と日行のこと

十月五日、新潟若松の両陛下お供の国家人事

番役事所にあり、四人の功労者として二人

崎村氏と私とが招待を受けたが、出発、白雪

した。花束の折り、さいかく、今、この山で「お松仙

石」厚谷新花）張者さ、新潟県の伝説の

子かやつと孤島のつた時などで、とうとう上まず

気にられない。ここの者のとういう人が人選に当

つたのか、ちつとこの二人を選んだとは……。

○六日　溝田孫衛さん、富山さんを日伴中間

報告に見え、自宅まで、いろいろ人士今の

件のこと、芸妓のこと、国際民芸

の評議会副会長の件を話はつきない。

十年以上の心のもとく山のほつと自然芸でとろ

ろを作り、新田所の土蔵をばの形でそばのさを

こしらへて多数の知恵をまる。多分明日行かず

バスで帰る。多数一晩考へた上、そうくwしり

下の副会長、一期を引受ける決心をする。

強部氏は国連の多様方に入り、毎日富の

パンフレットを主として累説をまくるそうで、私も

連絡係となつて頂くそうである。よき伴さをひたすら

祈る。それにしてもあの人のかんぜを会長で何とか改

選したいのである

七日、うれ平男の事件の村で、五色の温泉

つくつる野ぶたの陽宿今、在住今ある。

河口トトルさ事、平田氏のかうえ訪問事務長

して下さるそう。成果を祈る。後日要日で

ない。新聞夫人、キヌヨ様の人さくの感者

つるう、古沢氏の要川主国（草かり氏の張出先

のねぎ所）に移り下来をいれたそうで、沢わて下

さる、後の伝説の男の方日伴ぎうで、沢いれ

ず屋敷へ迎つて頂れた。丸山様は氏は立ち寄

八日　晴れ。今日限り（そう）法子ぎうず関係、

最後のみ恢する。かれ、野宮西氏に約束があるので
諦れの手紙あり。　学青の秋田さんの老夫人、病
と薬悪化のため、実家の方へ明日帰ることになった。
人元の毒を恢しい石めには悪せずにはいられない、六十
だというのに、何という老人であろう、四十五才で肥満血
をしたのださうで、先日来下のものに出るのがわからないら
く、毎日汚れものの洗たくに忙しい。けれど、だんだんる
いきかなくなり、それに一人で出来なくなるので人手のうち
に実家のお兄弟の方にお洗んなりに為られるのらしい。
一つ表相を人たちである。

十一日、博史新より一度当守始していると手紙を与へ取り、
早速来てくれる、昨日よりきひしい寒さとなる

十二日、和、霜柱が真白、外に出る気もしない、風
かぜれるようだ、博史姉子温泉に行く、

十三日、姉人多治我より新年年、の物製某百人随筆
三枚の依頼をうける、早速新年にかける

十四、かき上げて送る、「近ころおそろしきこちの一つ」
と題し、食べ山の相表性のうちをかく。
経部氏より速達使にてパンフレットの巻頭を
二枚たのんでくる。
昨夕実然遅子の菊池美津さんの事務をうけ
びつくりした。成城を訪ね、此事に滞在と知って、
すぐお田急線にのり ~~[illegible]~~ 来れたもの、菊
池さんのお家はこのすぐ近くにあり、しあわりにな

っているのだそうで、私はそこに行かれ一泊、今朝
早くから、見える。一平和国民大会のことをお渋
に見えたので[illegible]が、はっきりして話しなく、いろいろ
一平和運動についての（これについての）新聞に時を送した、
そのための姉子温泉行の計画は、二日のびたが、それ
かくそしてみれば泊まるたすに遅へるのはたしかった。
なかなか元気で活動的なのには等数する。
昨朝こそいよいよ姉子に行くので、今日は荷物を
まとめたり、自然一葉のお土産を用意したり
お色で、書類をお家もべきしたり、続々忙
しく美した。博史は風なく晴天なので、すぐ
近くの山を描いてくる。

一九五四年（昭和二九）

一月十四日

午后七時、濱田東衛さん、国際民主婦人連盟の執行[illegible]に
はじめて、今度加盟した[illegible]国連を代表し、出席する為
羽田空港をたつ、羽仁説子さんが、副会長の新の代理を
出席されるんだったのだが、血壓が高いとの理由で辞退され
たので、事務局長の濱田氏が代って俄にたった。ところは
スイス[illegible]ジェネーブ。私は会長コットン夫人に案せる意義
二枚をかき濱田氏に托す。意義なるそれ
「わかなはいろしさ[illegible]、わかはうかは二十億」
（これは日本世界連盟[illegible]の歌）[illegible]
のけしの句
「世界は一つ、人類は同胞」

濱田氏、コッペンハーゲンの世界婦人大会の
陳、ソ連中国のりきした理由で旅券
を附されず、遂にその出発不能。

十七日

有田八郎氏と私の保証書（濱田氏今
回の渡航は絶対入ソしないという）を外
相同様氏に提出する。あらゆる方法を
尽して、今後のその旅券獲得運動を
することに決定する。

国際民主婦人連盟

一九四五年十一月パリでひらかれた世界婦人会議を機会として結成され、四十カ国の民主的婦人団体が加盟し会員は約八千万、会長はフランスのウージェニー・コットン女史。ファシズムをなくし、平和をうちたてること、文化、経済、法律上の男女同権をかくとくすること母性の幸福、子供の生活教育、健康をまもることなどを基本的なスローガンとしている。きたる十六日からストックホルムで執行委員会をひらくが、日本からは平塚らいてうさん、羽仁説子さんなどが出席の予定。

ばとこの時

十八日、やうやくのことで、大瀬に来る、十時東京みえ、一時半沼津着、二時の沼津発大瀬ゆバスで四時近く大瀬館に落着く。

二十二日、静岡市公会堂で開かれた日教組の「第三回」婦人教員孫宅協議会に電報でメッセージ送る。

二十四日 東都市の西園寺公一氏に選挙戸様のものの メッセージと手紙を出す。

二十六日、稲垣守克氏に、二十四日の田氏宅の連邦運動の知友の集いの集内状に対し、返す延引と欠席のおわび状を出す、理事一重任の通知に対し、三文諸の通りに同時にする、本年は昨年の責を負ひ、連邦運動にはしかし全く根力したいと思う、昨年は常任理事者として、今後は出席せず、まことに申訳をいことであるが。晴れたが、室の風がふく。東京にとてもの二つさのようだ。

二月二日、永遠の本年第二扇注文実力ジーの横浜氏の若者への序文速達で上京法保会に出す、博史は第三十一日、若陽原稿を送る。

十三日 博史、宇都川婦上、仙骨の為上京するとの知らせあり、帰京する、新しき村の展覧会に出来の俗二矢打発、大瀬岬の黎明の

為士と夜明けの海。

十四日 博史の婦上より、十六日のつばめで上京する、東京まで出迎えてくれるの手紙あり、東京の博史に電報する。平田の子氏より子供の村の先年と青年の集りに出席依頼しくる。

十五、日比谷公会堂で、平和憲法擁護国民大会ある日、左の電報、依頼されたのではないが、うつ、片山氏にあてにする「平和憲法の外日本に誇るべきものの一つもなし、今日の大会の成果を切に祈る。」平田氏へ断りの返電する。夜寒いく手紙出す。

宿の前、諸に近く地引あみをはり、鰯をとる、日暮れ方より風曇り、一層寒くなる。

十六日 曇、風寒し、いお根に又雪ありし由。対岸の山に、為士に湯をかくす

追記

四月上旬、桜の花盛りまで大瀬滞在、大瀬より舟で沼津に行き、沼津のカツマタ宅（女子大日高）の蔵庄敷に十日ほど滞在、千本松原に遊び、東方寺を訪ね、和尚の天岫夫妻にお目にかゝる。夫人は女子大文科六十、婦上と同級だった[illegible]人、とてもよろこばれる。

九月二十八日　先作哲先生の告別式あり、雨天で
あり、気分もわるく、行きたく思っていたのに、とうと
行けず、吊電する。女学校五年を通しての
丘又持ちの先生を遂にかの世に送りする日
が来たのである。先生は七十六、七才でいらられ
たらうか、私が女学校への文学試験をうけた
明治三十六年のとき、初めて知った先生は新婚の
丸まげ姿で、文学の受験生である私たちを迎え
て下さつたのであった。実に若々しい、色の白い
美しい先生なのに、割りた私だった、今まで
学校で、男先生にばかり知られていたので
一層強く感じたのであらう。五年間を通して
私には私にやさしい先生だった。

十月

五日　静電気原法というのを、一週間ほど前外
けじめた。今日で六回目である。

十一月中旬より　遥子新宿の早大健保の家に静嵐と
四日停（わたしは岩谷道）をかき上げるため移る。

十一月二十五日、中国国度命に行かれた高田氏に出先きから
ベルリンのルーアドの初めら会議に私の代理をし
出席して頂く。原本爆業上のアピールをもって行く。
高田なほ氏より、チエコ、プラーグ等の長い手紙がつく。
十八日発のものなり。
同氏十月十八日上海で日本代表と別れ、中国の
韓さんという日本語のできるか女と共に、十八、十九、
二十日と汽車の長旅をへて北京に戻り、
廿六日中国の五代表
婦女連副主席、立早温女史　国際部副
主席二人、北京大学陳教授と韓さん
と共にベルリンに行かれた。一日ベルリン着、
国際民婦連の非常な頼迫をうけた。
コットン夫人、ソヴエートの二才、ポポワ、イギリスの
モニカフェルトン、フランスのマリークロード、西
ドイツのリリー、ウエフター　皆出席の由、
この会議は最高の執行局会議で、その
国から重要なメンバーは多く集った。
会議室の正面の壁に各国の代表（副会長）
の字幕がかかり、その中に私のもかくっていたそう
だが、それは高分中国へ送ったものかしれない。
一、国際民婦連の評議員会開催の件
附来年一月二十六日―三十日まで
所ジュネーブ
議題　(イ)世界婦人大人等以後の婦人の活動
(ロ)平和を守るために、

一、原水爆使用 宣験、製造反対

一、軍備提唱

(ハ) 婦人の勝利の問題、労働婦人、農村婦人、インテリ、主婦等

(ニ) 母親大会の準備

二、母親大会

高田氏は母親大会について日本としての意見を聞陳された。

この会にも是非日本の代表を送らねばならない。評議会にももちろん、日本代表の出席が強く要望されたそうです。

高田氏はベルリンの全世界にある水爆のアピールを放送して下さった。全婦人大会にも出席して原水爆禁止を強く ドイツ 云った。

その他各国婦人との懇談など平和のための大に活躍されたことは今後に使へない。

田氏の手紙には

「外国に於ける一人平和のための使として私は全身的な責任を感じ、その使命は立派に達したと自負しています。この国境を越えて筆舌にはつきません。諸治りやの私はベルリンの十日間で深くそれぞれゲッソリとやせてしまいました。」

ベルリンからチエコ向って、十一日出発、十一日平

○原水爆使用、宣験、製造反対

○軍備提唱

后、四時半、美しいプラーグ着

ここでフランス行のビザをとり、チエコの三人の代表と共に、フランスに出発。

十九、二十、二十一日の会議に出席して、二十六、七日婦人の予定とのこと。

一日の評議員会のための意見を投函すると、こちらも早急に評議員会をひらかねばならないとなる。

羽仁説子氏にやはり出席して呼いとなる。

昨日小林登美村氏訪問、終日し夜九時半まで御待ちつゝその用談や その他にて語しこむ。

小金井の家屋に帰れるは十二時近くなるんすとは苦労する所にたえず。

十二日昔 吉田内閣総辞職す。今日の不信任案の上程をまたず、総辞職す、解散と云ふ事されていたものだが、吉田氏の解散論に対し与党内に総辞職論有勢となり、吉田氏終にこれに屈したものである。

平塚定次　靈満姫（ミマ ミツ ヒメ）

元治元年、九月二十一日

結婚　明治十四年十一月

死亡　昭和二十九年十二月十一日午前九時（退潮十時）

死因　老人性肺炎　満九十歳

（発病十一月二十六日）

（平塚定二郎　正三位勲二等、錦鶏間祇候番）

十一月二十九日、母病気の電報をうけ、逗子の早大他保海の家より

十二月十一日　直接戸田井に、又新に来る、

母、朝方より急に心臓微弱となり、三十分ほどにて、

危篤、降後となる、十日朝は、全く眠少ず、終朝

苦悩せしも、降後は[illegible]やすらであった。最後

の言葉は、朝八時頃、みな喪服の用意をしたか

かということだった。正九時安らに帰逝。退潮

は十時とあり。降後には未終印、素子、（ゆう日の）

以、綾子、美智子の五人がいた。

十三日、三五教により、自宅にて、午后一時より葬儀を

行う。明生、敦史、直史、美の、美物子、千世子

十四日、など（博史）親戚一同参列。

取子の火葬場に美物子、千世子、美智子

と一緒に、戸田井の頭に連れて、お骨上げ

に行く。

二十日　十日祭を行う。

二十一日　帰京、

二十六日、納骨式。青山墓地の平塚家の墓所

に葬る。正十二時餘木とのみ花店にて集

る。山田信嘉んに杉葉状をつさ、会員有

法さんに伴はれて参列。

三十日、逗子新宿二一八八の早大他保保全海の

家に通ひはじめる。自信の原稿を完成す

ものに。博史に送られる。博史と当分滞在、

三十一日

博史と一緒、山本さんを忘しかつて時間、とき子夫人

を得かす。時間正月のため雲霧をかし許りして帰る。

逗子の降雨の鐘をきく、一時頃就寝。

○一九五五年を

一九五五

よく返之る、

一日、海岸を散歩、浪子不動に行く。

いかにも新春らしき、好天気、風なく、海は

鏡のように平穏きまのである、喰かなのか

何より有難い。夜は東京の家に電性する

二日　年賀分れの分もを夜かく、十二時寝る

敦史、直史、明史の三人逝れに来る。海岸

で遊び、夜にのる帰る。博史は美山に行く

と屋塚家を出て、終日不在。年賀状に対する

新状を夜おそくまでかく

三日、ソウヒート好人委員会に年賀状をかね、

こちらから
原水爆業止のアピールに対する手紙の通りをかく。次のとおりの。

（責任書記）
報告するなりージヤ、ペトロープ様 並に（副議長）ナジエッシタ、パルフェーノワ様

一九五五年の平和共存への新春を迎え心外のようこびのごあいさつをいぎり申上げます。

過日はおはやばやと、暑いご年賀状を日本婦人指導者たちへたくさんに送りてさつ申してきたれ、有難くうさいます。さつそく婦人団体の主な婦人の幹事、評議員へけじめ元が団体の主な婦人たちにそれぞれ届けました。貴重婦人のこ好意と友情を深く感謝をしております。

私たちの原水爆業止と戦争反対のアピールに絶大なる支持をおよせ下さいました。婦人はほんとうに私たちをよろこ届せました。

一月十五日

シルバーマン夫人の幹いなとソリ左の英人より、原水爆運動のための派遣者に同じて手紙あり、長々以上ありき報道する

Central Middlesex Hospital,
Park Royal
London, N.W. 10
England

Dr. Harace Joules

二月十三日

運子海岸日比谷平吉「夫人八重子」様の二階の一室を借り、よく三日半まで、ここに避寒をかね、仕事するようになる。まことに静かな、海に面したよきは部屋なり。

十八日 自伝わたしの歩いた道の接でやつと終へる、最後を速達で評議社に送る、それを一緒に十九日の「一票を生ず婦人大会」日本青年館へのメーセージを、日社に托す。大会のとき、本の廣告ビラを来会者に渡すので、そのビラと一緒に会場に届けてもらうことにする。

二十日 西南の風強く、波高く、終日あれる、ただし気候暗く、春四月頃のまじなり。終日手紙をかいたり、そのうちで新潟などよりのんびりする。

二十一日 力球登美技さん、夕刻来訪。

新日新聞社刊行の係の山本の氏に「わたしの歩いた道」を新日紙に紹介する。依頼されたところ、記事としてはいかにはいかなりとの意見出たようにて、私のそれに対す

立見をきいん兄えちがうん。
対馬信れち俊法もちて加るで一万象
印税の四分の一 加藤氏に渡し、伊けごくる。横係の
加るでちる。 部数は二千部と聞かしん。

写立ち
「わちちの弟いち当」二千部出版したが、すぐ石丸し、
千部近が出版したが、よろやく出来て、五部出版
会が伊てきた。

二月下旬 医ちは比谷印清在中 左眼の眼
底出血。 ちが孫ちの孫ちの眼、白内障を
かくこと、ちの孫のをしたことなどの過節が
出ちのとちる。 しかし白内はちれを見付
かれいちが、眼鏡を、加わちて踏み破
した(阿部外科医院)。 ちが孫ちの孫ちの眼、白内障を
ちいんが、ちいんが、ちいんで
ちいんが孫をちきてちちで、鏡の前で眼を
ちちがちて 軟膏クリームを塗っていんはんちが、いきな
ち立って 寝をしめるとき側のはずしを重ねちの
ち眼のねをつけミミジンにおみつぶしん)ので、一日し
年抱事だ、すぐ上ちして 近在病院の眼
科に行き、検眼(眼鏡の度を出確にしたいと
思い、九日ちの日ねて外出ちっていく眼底血圧
を測ちて出ちちあれ)に行ったところ、まん眼底出血を
いるとのはかりて知ちきせちがちん。ちちあ医ちいとちを出
決ちる。

三月下旬コロンビア大人ちち左の来書あり(仏文)
国際民婦連副会長 平塚らいちう様

あなたの七十年のお誕生に際して心からの
ご祝辞をお送りして、あなたの健康とご幸
福をおよろこびすることを本当に願います。
会長として未永く、日本におけるあなたの息子
や娘たちを導き、更にあなたの子供たちは近
であり、あなたを心から感じている日本のすべての
婦人たちを、いつまでも指導して下さるようにお
願いします。
私たちの組織である国際民婦連は、凡ての
婦人たちの間の友愛と連帯のきずなを
強めるため、積極的に仕事を進めています。この国際民婦連の会長として、私は、あ
なたが、私たちの組織の副会長に選ばれん
ことを考えることは、私にとってちろこびちあります。
あなたは全生涯を通じて、あなたの国の婦
人の生活状態を改善し、日本の婦人達の
いっている能力と、その国情の力について婦人た
ちを啓蒙するため、活動して来られた、と
いうことを私は知っています。私たちの連盟
で、私たちが進めつつある仕事の役目は、日に

ようなものであります。私たちは、あなたが私たちに示された協力を、大変よろこんでおります。

あなたが原子兵器に反対して送られた情熱的な訴えは、大勢力の主婦や母親たちを啓蒙しました。私たちはあなたの指導のもとに、日本婦人たちが、世界母親大会の成功と平和の勝利のために、立派に家与されることを確信しています。

親愛な友よ、私はあなたに深く共鳴し、心外あなたのことに気を配っていることを信じて下さい。

マタム　コツトン

四月十四日　我、三版出来（わたくしの家に送る）

二十部、新伊勢北より届けてくる。

六月七、八、九の三日間、日本母親大会開催、

第一日、豊崎公会堂、第二日分科会、参議院会館その他数ヶ所に別れて開く

第三日（全体会）日本青年会。　全体会　日本全国一号、二千人を越える。とにかく、母親たちが、全国外、こんなに集って強い会ったことは嘗てないことだ。新しい、歴史がはじまったものがある。世界母親大会への代表の センコウ委員決定す。よりすぐ代表を送りたいものだ。センコウ委員会がスムースに進行し、皆が仙得しうるよいお母さんと日いつものような世話をマサツなしに送り出したい。

十四日、午前より選衡委員会開かれる出来れば今日中に代表を決定、明日発表したいとのこと。

那須志摩さんにしかれ来緒。市元気なのが実にうれしく、力強い思いである。老人ホームを最後の仕事として見非やりたいといけれる、大に頑張し、協力にし、また私自身にその中で（仕事をして）暮したいとメ都合すし、口取後の安住所をて。

（人生）

鈴木長治さん外来書。私の病気を心配され、酸素をすくめて下さる

那須さん外菊劇の夏メれをきく、

二月中に、十分かり込む。人が両手を延げた位

しつち一尋のひろがり程度に思い切って刈り込むこと、
芽が出れう、枝の股の間から出る芽が皆つむとること。
花の蕾が出ないうちに一回、蕾が開かぬうちに一回
殺虫剤を木全部によくまくこと。蕾がたく
さんついてル花が開くと皆散ってしまうのは虫の
ためにすること。必ず殺虫剤を二回かけること
を忘れるな。寒中肥料をやること。（魚のワタ
を腐らしたのだけ、みりしいこえ。これは根の二尺
ほど離してすること。　発春、種木の出る頃
根に木炭をやること。
刈込みは、今年出た枝を、三股ほどの長さ傷存じ、
先を切り捨てること。

○母親たちへの親身
1、アジアの未が国法国の国連加盟お
2、四区頭會議の成功とそれぞれの希望、

七月一日、
新評論社より初版印税内金二万余現金にて
逗子海岸の皆各郷の方へ届く。なほ初版の残金
は九月末に行って伴いたるす。

〃十日　本山氏来訪、わたし歩いた道の家贈は七十五部
だったので、百部を家贈として世印税にしてある
から、私が社外買った分の口が二十五部差引
かれたしとする。

〃十六日　新評論社へ諸家事の餘事は死に本を二十五部
発送の催促と、私の方十部注文のハガキ出す

二十二日、
博史と共に戸田井に来る、昨日事業
を正二上京のため、一日のばした。
川風終日家をあき抜け、実に
涼し、こうしれば、住み近代への
選者の必要もないと思う。夏には
毎年母ととしてなかめん　此家のきけう
かしら喰いたい
いく年を母となかめし　桔梗かな
川風のあき通りする伯や花　桔梗
ひねりすを川風通す　夏座敷
霧の土手　利根の川面は霧の底

八月九日
婦国連会長を来る　徳今限り辞任する
旨の書面を、副会長三氏と常任幹事
会宛郵送する。
博史　東京にかえる

十日　富本氏より来書

十七日　午後　博史がくる、奥の海の原行
は昨日三時まで起きて大体形が出来たとこ
ろでよかったと思う。
出口師の病人のために教えた歌
1、この胸はチギ　カツオギの棟にして

病はらいどみやしろの山ね（かく唱えて胸を静に拝でる）

2 この腹は高天原の腹（ハラ）にしていのちの神のつどいますハラ

3 腹にます食の神にたてまつるこのおしものに力と味あれ

十八日 東京ノ人に、今日の発表 七九八万

二十二日 炊公論十月号「四十周年紀念号」のための「今日の主婦」十五枚かき上げる。坪中の手にもつて四夕刻六時のバスで帰る。明今公論社へ書法をかけ、家の原稿をとりにきてもらうつもり。昨夜の雪雨で、今日はとても涼しい。

○三十年三月現在で完全失業者数八十四万人

二十四日、二十三日夕 世界 世界大会代表第二陣帰京、周長河崎氏へよろこびと慰労の電報をうつ。

三五教第五回世界宗教会議の議題

一、人類は何を目的として進むべきか

二、人類の精神教育は何をもつて導くか

三、宗教はいかなる方法をもつて活動すべきか

この第三の議題に対し教主中野氏は次のように述べている。

「宗教家は精神的の導きと、体的の導きとを合せて、現世すなわち神世であることを知らしめ、月日と地の真理、すなわち神の大道をもつて教育の大本にいたすべきであります。神の大道は精神的な道であるから、形あるものでなく、声あるものでなく、人の智識では容易に判断のつき難いものであります。何不現世は体的な面はかゝれ重きをおいているので、とかく個人主義、道徳主義に陥り、小人をつくりつつあるが、精神的教育は大人をつくる教育であり、そうした精神教育の根幹であるところの宇宙大精神を、人類に導くことを宗教の道というのである。等しく宗教と名のつくも、人の知識でつくりあげたものは、徳の力なくただ単に説だけのものであります。真の宗教は宇宙精神の道をもつて人の精神を導くことを本意としているのである。」

二十六日、明二十七日の世界母親大会代表中央預法令にメ見しジを送る。前夜徴犯で三枚かく。

二十五日午後、事務局内長小川智子氏実然来訪

二十七日のあいさつ昼非にと依頼されたので。

二十七日 取手へ「世中つ子」を婦さんと同道見にゆく

なかく見こんえあり感する、やはり泣かされた。

世中の他粋な心情には動かされるものがある。

三十日　博史実丸午后来る、十三夜の月美しく、出しられに秋をしみくと感じる、河原まで ふたりで行く。遠空に花火あがる、布佐あたりかな。

九月三日

博史午后帰る。内山一郎君来訪。一泊

四日

「宇宙一体、世界一家」

「神の心―純粋なる澄み切ったそして世限な愛そのいの」

智―愛が発現する様相」

神のこの智の至り止まる処が造化の大芸術という物のあらわれになるので、この造化の方式を「道」という愛は神の実態であり、愛は神の智即ち「道」はその現れにある そして愛の用は善、智の用は真である、用というのは働きの本性をさす

宗教は、独一真神即ち宇宙大精神の立ち方を地上に写すことにある

「左とは目なり、陽なり、火によって足りることであり、右は月なり、陰なり、水極(みぎ)で月日と地の三つの中に働いている いのである。日が体であり、月は霊となる いのである。水極(みぎ)は霊体であって目に見えぬ霊の力を与へるは月の力である」

七日、結婚んに送られて一ヶ月半ぶりで帰宅。

十四日

戸田井川にて奥村家、宇野家の祖霊を新しいお宮に鎮めお祭りをする。博史と私の守護神に当る戸田井に一緒にみみつてもらうのです。私が帰国直ちにこれを引退し、健康の自信もつきしすると自家に落付ける時までつ旅川が為いのだ) 私に代って婦さんに清霊をすべての日々の給仕をしてもらうことにした。早く大神様をみつけ、祖霊をすべて家へ祀ることにしたいという。博史は来てお祭をする北小金の三五教実東京都より祖宮二人見える。

十七日　博史とみちで帰宅。

十八日　本当美喜さん来訪。日長時事話し ひどく疲れる。

二十五日、明史の音楽会にて呉服橋の日本お互ビルに博史と行く。

二十六日　敦史の誕生日の祝と氷川神社の祭礼をかね、宗族一同に中山家のママと明子を加えて心はかりの祝いをする、戸田井で陰の

小豆でおしることをたくさん作る、往来まで其の
ためお鎌にかいに行く。

二十七日 ~~[illegible]~~ 夕刻から急に煙草がお酒に酔つ
たような、気が遠くなる思いに屢し襲はれ
る都方、右の耳に金属性のものが未令
うような、ぎりぎりとした不快な音がきこえ
る。二、三分おきにスーとはかうなくなつてしまい
そうになる。はじめ多の位験なので、不思議が音
と共に甚だ興味でならない。元なるのかなる
かと思ひ、愛食に右側の頭に手をあん
て寝る。博士にも手をあてゝもらつたがなかく
やまない。

二十八、九日 ゝ日様、終日寝たり、起きたり、治
療をして著す。

三十日 河内先生の来診を元て、血圧をはかる
右脈一八五、左脈一七〇余。
皇中寅夫のたべ過ぎ、胸脇がつまる
ぎいたと言ける。最初の日から思うと耳に
きこえる怪音も遠くなる元持ゝ上げたかく
なつてきた。しかし、音は(金)なかく やまない。
一週間ほど安静にする事を命ぜられ、漢
薬、食事をいたゞく。

十月

十五日

ソウエト反ファシスト婦人委員会書記長リージヤ、
ペトローワさんから来書。「わたしの歩いた道」を
受取つた礼や通訳者に記して貰つてよんで、日本
婦人を理解するための貴重な手がかりであり、
大きな興味をもつたとする。なほ前に、貴めあて
に、又い高橋様に送つたソウエート婦人のたくさん
の手紙はどうなつたかしらせてほしい、は返すを待つ
ていると云ふ、婦国連の様子「世界の婦人と日本の
婦人」に借けて送つてほしの依頼がある、ロマ以
備してよんだ。実にたくさんの反響が(原れ様
の私たちアピールに対する)ソウエートの各種婦人(主)
ちのであるから、それを今日まで殆ど表はせず
抱りつゝあていたるは何とも申訳ないことで、この
人たちの支持の事の熱情に対し、又この運動を
はじめるうえにも、私たちの志慢は、どんなに忘し
かつたものとソウエート許されないことだと思ふ。
私は何と返すすべきか心の痛むばかりです。
アドレス Mock Ba, K-104, Ул. ПУШКИНА, 23, ~~[illegible]~~ KCK

二十九日
午後八時羽田出航、小川智子氏、私の代理として
モスコウで開かれるW-D-Fの執行局会議にも席
する。会議は十一月二日より四日までの予定。小川氏

一九五六

が最善を尽し変化を代って果してやまずと信じ、かつ祈る。

私は十月末伊豆に出掛ける筈の為人の秋を以今日外とする。

十一月四日

イギリスのダイアナ ヒムさんに16ミリフィルム永遠の平和の代償三万番工場の活動する姿を前向、ちゃんとの依頼で出す。

原水爆反対医師の会に五時丸ぎりで、日今の

なさかる姿をかき、私の名前を出した。

十二月廿一日

運子早大浦の家に年賀 博史と逃避行。

昭和三十一年（一九五六年）一月一日

七日まで浦の家に滞在。日比谷邸に移る。十五日まで邸、二階浦を始め一家（昨年借りた家）に移住き、十六日より義の仕事に移る。静かだが、日あたりよくきれいな所。新世世帯をいとなむ。

両院の勢力分野

十一月二十一日現在の衆参両院各党勢力分野は次の通り。

◇衆議院

		計
自由民主党	二九九	四六七
日本社会党	一五四	
小会派クラブ	八	
（うち労農四、共産一）		
無所属	三	
欠員	三	
計		四六七

◇参議院

自由民主党	二一八	
日本社会党	六八	
緑風会	四七	
無所属クラブ	九	
（うち労農二、共産一）		
第十七控室	三	
無所属	一	
欠員	四	
計	二五〇	

た。

【注】平和五原則はインド、中共、ビルマ、インドネシアなどの間で確認され、ソ連も支持を表明している原則で❶相互の領土と主権の尊重❷相互不侵略❸内政不干渉❹平等互恵❺平和的共存の五つからなる。

一月十日、博史の日付は完全の一部「めぐりあい」の完成

一月三十日 二月、それ相談される。三月末に法廷出る。

四月末人の延生日であるとの比谷夫人

独り夫人招かれる。

このBMHKの人のはるかの「すじちがい」

で私の仕事が終ったが、四月末人の山の

お宅で、エメウにあるから皆でいらしゃんせ

く。信が出て困る。

二月三日 ソプラノ歌手 安宅会・ラの依頼で

ウズベック語の歌人 独唱に原水爆禁止運動

一とくにこの春大平洋地域で行はれるアメリカ

の水爆実験中止運動につき家族の保護と

安全と、航空使ひ方、別使で、歌及び

八年所謂のNHK十周年記念には高田先生の史、十二年の歩みの原文、切り抜きし者に送る。博史三十日来し、一日帰りしが、長男風をひき、姫ねずみと症状とのこと。吉山氏を見る。高田先生あて手紙をもらう。三十日の放送をきいて、下さる由の。

二月六日　昨生、子供たちの手紙。石生が昨年うましかがれのひどいことを書き、祖父君はのんきで、家国を考えて、静かに考えるというので、旅にでれずとのこと。

吉　吉、博史も風邪が治ったので五人つれだって、ロメオ、ジュリエットを見て行く。

帰路「新世界」三階に「近代に於ける十大発明」の中に祝電法が「太陽の恵み」と記して博史の意見が記されているので、買って来る。

明日三月三日はめくりちゃいの後一番、めずらしいに出て、今朝の新聞に広告が出る。

八日　濃るに不動に昨生、る生、美子、をてれおばあちゃんが私に送れて行く。濃れ婦人会の婦人会の重役、三月一日の集会にメッセージを依頼される。

午後　昨生たちにおくるものと少年氏新聞。

高橋氏へハガキかく。昨日おしのれいの力色書

二十九日　新潟市民へ「わたしの歩み」の市税未納分七五、九〇四を月割にして納めさせる様請求の手紙をかく。川和連盟出来ることになる。とりあえず二月、三月の割合書が体位を改善中入れる。

二十四日、三月一日のビキニ被害二周年記念の「原水爆禁止のつどい」のためのメッセージを送る。

二十八日　明氏主宰に十周年記念名刺広告のもの、千円送る。柳田あきし氏、三ヶ事件の竹内基四氏の松本連盟に人が立つよう依頼する。

三月一日　博史上京、不眠、竹上さんの紙七枚頂く。

二日　静かな晴天、二時余海岸で回なたぼっこしながら読書、午後昼寝、夜、「高座」という佐藤三蔵医博の若きよ血の話、風寒く、昨日コタツで過す。

三日、　ダレス長官二日出発、六日一八日来パキスタンのカラチで開かれる東南アジア防衛条約キコウ（SEATO）理事会の席、引き続き九日からニューデリー、コロンボ、シンガポール、バンコック、サイゴン、マニラ、台北、香港、東京を巡回の予定。東京は明日帰国、帰国後の予定は、ダレスは四月二十日以後に行うという。水爆実験中止の国民的要望と、各方面の抗議とを思いとどまり、原水爆禁止日本協議会は日本、全国共闘連絡会、

〈三日本国体を今から婦人国体し太いやって中いと思う。

三月七日、婦人民主クラブに創立十周年の祝辞を送る。三月十六日から二日はここにある。

博史上京、土曜日[illegible]懇親会に
徳川氏招待の
行き帰途子にどうするか。

三月十二日 ひどく寒い。「朝日」へ三つ件の竹田以下十枚余を速やかに二枚投稿。

十四日 朝日の婦人とみ子さん原稿を送られる

十五日 宗教、夕近く中川紀子氏来訪。帰国途から十八日のダレス来訪を聞し、水・婦人団体の要請書を提出することは決、W・D・F評議会には英・米・ソ・安保を要請することに大いに協力するよう接見すると決定、四月二十四日より北京で開かれるW・D・F評議会に出席する代表者をえらんでもらえる。野坂氏の力添える為批評す。博史来る。暗くなって帰る

十六日 「義仲のくる三人の女」を博史と見にゆく。外食

十七日 婦人公論の三枝氏に小牧近江氏の新著「生きの幸道」とそれの書評一字大切新様氏執筆の事！を送り、婦人公論にのせるよう依頼す。小牧氏よりの指示に従うもの。私が出来れば批評したいところだけれど、草案

流ひとさへ出来ない始末なのでし

十八日 博史朝八時三十分東京へ向う。十時半。梅若流のお能の会に行くので、徳川氏より招待されたので、私も誘われたけれど、東京へ来るそれの都合で、ひとし写真など。六日頃の暖さで、却て気味わるし。

十九日 雨、風強く、終日閑居。角川書店新書の為の原稿（あのころのひとたち）の日記送る。現代の性諸差七巻「女性はどう学んできたか」角川書店より届く。

ダレスは今日鳩山首相、政府与党首脳と会談したが、重光外相、国際情勢について、力関係にあることを力説、平和は力の均衡の上に立つことを述べ鳩山首相も、これに対し日本の立場を表したと報道されている。（ここでは）全くの外交は全く世評されている。つまり、力の対立である。東南アジアの（だ笑）米ソ間の経済協力競争についての日本の役割の主要さなど述べられたのうらいの（思い）鳩山氏の口から何とも力強いの一あることか。なさけないというほかない。国民の方は信用（これなし

まひだ。

四月二日、横須賀市大津の小林郁さん宛名一来訪。二十年ぶりで逢う。髪の毛も黒々と昔のおもかげはかしも変らず、なかく元気。半日さし向いで、苦話つきず。浮間悦泉の竹湯の三階に居ることをきかされた。平塚市の恒光の三浦大介とその一堂」という本をかして下さる。横須賀女学校(小林さんが二十数年仕りた学校)の校長北村包直先生の特異な研究著述で、その中に三浦大介の子孫と平塚氏の関係が各所に出ているとのこと。大に興味あり、しばらく借りてしらべることにする。思はぬところから資料を提供されるものと有所に堪えず。大正十四年六月発行。発行所横須賀市旭町一二三堂書店。五百部の限定版であり、第四三三号と記してある。おそらく多くはぬらぬものであらう。女学校の公孫樹並木の写真を下さる。海城但について彩が日々新まるかりん「見い出の友の」と四和十三年中であらうとのこと。母上が十二年十二月末に亡くなられた、その後であらうという。浜松なのんでもの大(に接待する)(一年中)個い新まるかしていらばうとのこと。母上(養母)で苦労した話をいろ〳〵きく。

一夜九時頃、日高一輝氏(宮城)見え、語る。

例の(昔年)平和アピール七人委員会、以下アイロニハウ

イーデン、フルガーニン宛、水爆実験禁止の勧告文を送るにつき、署名を求めに来られたのであった。早速三通にそれ〳〵署名して送す、何とかすべきである。したいとしきりに思い、気になっていた時、非常に[illegible]と満足せめていの満足を感じる。左と人目前に迫った今度の米の実験は中止しされないまでも、日本国民の意志はあらまで徹底させればならないと思う。明日記者を招き例の麹町のクラブ関東で、その事を発表の[illegible]の部屋の予定。しかし私は出席出来ないのを残念のなら上代たの氏いよ〳〵女子大校長に就任の由、日高氏より伝聞。

四月三日 朝日所載

写真は声明する左から前田多門、下中弥三郎、植村環の諸氏＝千代田区麹町クラブ関東で

「原水爆実験は人類への挑戦」

米・英・ソ首脳へ勧告文

湯川氏ら七人委が送る

世界連邦建設同盟理事長下中弥三郎、日本ユネスコ国内委員会会長前田多門、日本学術会議会長茅誠司、京大基礎物理学研究所長湯川秀樹、婦人団体連合会会長平塚らいてう、日本YWCA会会長植村環、婦人国際平和自由連盟日本部長上代たのの七氏らの「世界平和アピール七人委員会」では三日、米英ソ三国の最高首脳部に対して、原水爆実験禁止に関する七委員連名の勧告文を送り、その内容を公表した。

同委員会は政党、思想などの立場にとらわれずに世界平和実現の問題を検討しようという主旨で昨年十一月に結成されたが、最近米英ソ三国が世界の世論を押しきって原水爆実験を実施または企画しているのは"全人類に挑戦する行為にもなろう"として、この勧告文を送ったという。

勧告文は英文で、親書のかたちをとったアイゼンハウアー米大統領、ブルガーニン・ソ連首相、イーデン英首相あての三通だが、このほか国連本部はじめ中共、インド、エジプトの各国首相にも同時にコピイを送った。勧告文の大要は次のとおり。

◇水爆実験によって放出される放射能は人々の健康に不測の被害をおよぼし、人類の生命に危険であるばかりではなく、その遺伝的悪影響について今日世界のどんな権威者もまだはっきりした結果をいうことができない・このような現状において水爆実験はいかなる国によっても、またいかなる地域においても絶対に行われてはならないものと考えます。もしも貴国政府が今日の人類の不安と世界の世論を無視して原水爆実験を繰返されるならば（米国あてのものはこの部分は「太平洋水域におけるこの四月の水爆実験が強行されるならば」英国あてのものは「原水爆実験が行われるならば」となっている）それは神を無視し、あえて全人類に挑戦する行為といわれても、しかたありますまい。私達は（この部分に米国あてのものには「最近貴国政府の日本政府に対する回答に大いなる不安を感じているものであり」と入っている）幸いに貴下の賢明なる裁断によって原水爆実験を中止し、さらに進んで原水爆の使用と実験を禁止する国際協定の締結に尽力されるよう貴下の人類愛に信頼してあえてここに勧告いたします。

下中氏の話　原水爆実験は人類の生活にどんな影響をおよぼすかなど科学的な研究がまだ結論に達していないのに軍備競争のかたちで強行されるのは黙視できない。人類の一員としてこの勧告はどうしても送らねばならないと七人委全員が一致した結論だった。

三日
四日

奥村帰京、金陵に別る

WIDFより来書、すぐ速達で了解ない
訳達。評議会への参加、ちょ[illegible]
流[illegible]の通知手紙[illegible]
ことのみなので、評議会今[illegible]
仕方ないと言って来るまで[illegible]
七日に[illegible]
きかれる。七月[illegible]
さ[illegible]引延し、一週[illegible]
したいと私は考へている。明日[illegible]
カルモケを[illegible]

天声人語

「それは神を無視し、あえて全人類に挑戦する行為だ」との強い表現で湯川秀樹、下中弥三郎、前田多門、植村環氏らの「世界平和アピール七人委員会」は原水爆実験禁止に関する勧告文をアイゼンハウアー、ブルガーニン、イーデンの米ソ英三国首脳に送った▼世界中にどれだけの反対署名があろうとも、日本の国会が実験禁止の決議をしようとも、馬耳東風でおかまいなく実験もやり製造競争もする三国の政府ではある。おまけに国連までが、米国のビキニ実験を公式に承認した形になり、国連の権威に失望させられる始末だった▼七人委の勧告文は「水爆実験で放出される放射能は、人類の生命に危険であるばかりでなく、その遺伝的悪影響について今日世界のどんな権威者もまだハッキリした結果をいうことができない」と指摘している▼放射能をあてられた魚がイビツな姿に変り果てた写真を新聞で見たが、人類の将来の醜悪な姿を予感させるようで気味が悪い。ひん曲ったあの魚が卵を生めば、次々とどんな姿の怪魚が生まれでるのかと不気味に思われた▼放射能を浴びた人類の遺伝がどんなことになるかは、ずっと先になってみなければ分らない。隠世遺伝の場合だと何十年も経たあとでないと分らない。醜い怪人があちこちでひょこひょこと生まれ出るようになってからでは、もう取返しがつかない▼米当局はビキニ、エニウェトクの実験ではあらゆる科学的な万全の予防措置をとるから安心せよと言っている。実験室の中の試験管の取扱いでさえ不測のことが起る。風も吹く、水も流れる、あけっぴろげの公海、公空での長期にわたる実験なのだから、どんな不測の被害を招かぬとも限らない▼イレーヌ・キュリー夫人がこの春パリで亡くなったのも、長年の放射能研究による白血病が死因だった。米英ソの原水爆工場ではそれこそ万全の予防措置をとっているのだろうが、そこに働く人たちが知らず知らずのうちに放射能に冒されているかも知れない。その子や孫に悪い遺伝が起きないものかどうか▼七人委の勧告文に対して三国の首脳はどんな返事をくれるか。お座なりの弁解でない、良心的な言葉をきかせてほしい。

朝日新聞

四月十二日　遅るを引きあげ帰京、しばら安静に専く計画をし、帝国に貢献することなど考える。

若干の結実（結果）の手紙の返事来る、十一日

仙の七人会チャートカレッジで開く。会事。

五月十日　九国ゆき中止されさん来る。大にたすかる

今月初旬、ちょっと花にイキエ吉ちゃん先の我々を

〃十六日　二十日イブセンの死後五十年記念日の放送について、

NHK教養部よりの依頼で十分ラジオ講演

教社とイブセン「人形の家」の内容について

決す。

〃　大日

博史左眼出血してより今日で三日目。

日本医学会所を発表し本下先生に出張

依頼す、手は三時過ぎ見える。やはり眼底

出血ならうとのこと。昨、昨日から来たる血との

ことにたいし三中先生のスタンドを数日前午

使ったことが原因と思はれる。

私の手もうで治療と言う。

ドクターよりは

なる程穴を教へられる。

後首
中央—風府—天柱
左右　風池
父嘴（耳鳴）

頸—口底下の両側大迎？
頸のうら耳に向けて
頸裏、頸下　人迎
額—中央はえきわすぐ下、約五つほど入れる（印堂）
逆上を決す（心臓弁膜症）ヒジ内側、関の節上部三ケ所

六月十三日　エジプトの又金属地帯より英兵いよいよ撤退す

七十年駐在したれの。

十五日　祝宴帰苑の菖蒲を、十一年の望みかなつて、見に行く。博史とおちで、朝の食すも

とうず。起きると早々に行く。

いくとせの昔ひ祝苑の菖蒲見る

ちらしく晴れて、日本の日なのが、菖蒲には少し遅

しなのかもしれる。もう一度、日曜日か、雨の日に来

瘂門（言語障害）ちいと思う。

父嘴（耳鳴）

湯川秀樹、茅誠司、下中弥三郎氏ら世界平和アピール七人委員会はさる四月三日、ブルガーニン・ソ連首相、イーデン英首相、アイゼンハウアー米大統領あてに原水爆実験反対を訴える手紙を送ったが九日、英政府からこれに対する回答が送られてきた。この回答は英政府からの氏あてに届けられたものである。しかしそれには各国が同時に行う必要があり、その他の武器、軍隊も各国話合いのうえ、同時に大部分を減らすということなどを条件としなければならない。それは効果的な管理のもとに行われるという了解が必要だ。

条件つきで賛成

湯川氏らの原爆禁止要請に英首相が回答

連絡で、駐日英大使館から下中氏へ求めることが英政府の方針である。

◇

原子兵器や大量破壊兵器の使用、保存、製造を絶対禁止する必要だ。

昭五六、五、一〇　朝日

についての意見を附す通信の事に決す。

二十日　朝日夕刊の「今日の問題」は厂史は動くと題してBBCが十八日ロンドン外次のように放送したと伝へている「エジプトのナセル首相は本日ボートサイドの元英海軍司令部の屋上にみずからエジプト国旗を掲揚した。これによってくりかえ[illegible]エズ運河地帯の駐留は終止に付を打たれた。」この時、日本では沖縄をアメリカが永久に領を希望する上院議員の演説から、大問題化し、住民大会が開かれ、代表者が上京し、国民的な反対運動を[illegible]ようとしている。

時事通信に意識演選挙についての[illegible]を決す。金義光と二人の意見を各政黨の選挙政策と並べて出すのだそうな。

二十二日、野坂参三氏の参議員選挙の拡張の[illegible]を再三写本氏を通じ、たのまれ、電話で送る「今度の選挙は婦人や母にとっては一三万重大です。憲法改悪をくいとめ、平和をまもる最後のとりでをとうしてもつ足がねばならぬ大問題がかかっているからです。私はこの報にを込めて野坂先生を拡張いたします」

皆は社会党の公認候補全部の拡張を了解した。

七月二十三日

川田春代、川端春成、北島光子、仲田多にみへ指りの電出す。

二十五日　川田光へ入りでる城する水野成夫氏母堂に遊去らうき悔状出す

夜貝世来訪。

八月

一日、朝十時頃家を出て、博史に送られ、戸田井に行く。暑気きびしく、三十五度を突破、今夏最高とのこと。二十日近く迄滞在の予定。戸田井は今日は風なく、やはり暑い。

二日午前九時半博史は帰京。今日は午后一時よりモデルが来てデッサンの勉強をする日なので、とめる訳にも行かなかった。日ざし強く、昨日ほどらぬ暑さだが、風があるので凌ぎよい。

小林登美枝氏より早くもハガキ来たのでは少し暗く。今度の原水爆世界大会の費用金の募金、街頭募金を十万は目標額に達しない見通しのつゞれど、個人家附にまゝれはかりぬにつき、沢井先刻至急送れとすす、夜通しかく。此朝郵便の名。

三日、軽部氏へ細りらかるに家附依頼の仲のうちしる城出す。

四日　平和ぶじん[illegible]の勝田テル氏ようにあやり見報

八五子の後援者所から

と云ふ「母親は今おのれちゃん」の名刺を以て
招待を依頼して来る。久保田氏をこゝへ
呼ぶが見える。まつり三日前になつてゐるのに
驚く。しかし二十三とか。八、九年目に今うどの外
当然である。彼の他を引る。お嬢さん最高気
強し。お宗の宮様の世話をいのる。

五日、許広平さん昨夜四時羽田着の新聞により
そうあえず、今日来日歓迎のあいさつの手紙する。
博士より許広平さん外手紙と扇送られたる
知らせあり。博士の代理として羽田に出迎えに
行くとあり。来る十六日、ほぼ対談（九国氏
の司会にて）明後日宴で全国にて放送、九国
氏ちゃんと知らせて来る、驚ろき、私いけ
ずの元気なり。ほぼ駄りうる外出ずにすむ。

八日　宴会の会場の記者が見え、許広平さん
と対談のスケジュールを大体先方へ申
込んである、と故、せひ引受けてくれる
ものなれど、他方なく理由をのべ辞退す
る。大山郁夫氏の宮出三枚やつと書
き上げる、ほぼの自伝信等書きなる
に進のなかに。今日はぼや汗ばかりにて、
風かしなく、暑しのきにくい日なり
だつた。博士の「ばいき」来る。羽田空
（力拙とみえさんの）

港に博士は許を迎え、許はぼの中国の
一行の元気ハツラツたる様子に圧倒された
とあつたが、力拙さんの心はじように、イキリス
のモカさんとフランスのマリークロウドさんはの
外国代表の元気さ、エネルギーのほかの人と
は違つた感じのあるようにうたれるとある。どこ
が来るのであろうか。

大和服、拙くやはり原稿屋の草いきれ
大和服、拙れくや草いきれ

十二日　博史、宮城一来る、「のりあい」のあをかきし
の原稿をもつて来たので見る、ふちてなく
訂正する。中村公の子郎コレ、むきらくかんそ他お土
十三日、午前博史かえる、疲労極。
九国さんから明公の許広平さんの対談
について、手紙ある旨あり。二十日にあるか
宮とのこと。今日は月並会。

十六日　台風九州地方（特に長崎、福岡方面）を襲う
十八日　山口県のあたりで、昨夜半十二時頃の強風
で、雨戸がなつて目がさめたほどだつたが
今朝は秋晴のような日かけで、おはくろ
とんぼかたくさん宮をとぶ、全く秋が俄に
来んだ。
山本杉さんがやつと思い手紙ひかく、一昨日
豚州行のときの不担金のお押を清おすまして、

婦国連のカリ夢、殆ど面は外頼まれた様。

「母親大会とは人類の生命の尊さを知って、それを守る会だ、世界中の人間、一人、一人の尊い意味を教え、それを大切にするための会である」

二十七日の母親大会にはちょっとも出席し、あいさつをしたいと思う。

二十日　夜、戸田井より帰る

二十二日　午前十時よりフランスのWIDF代表（副会長）マリー・クロウド・ヴィアン・クーチュリエさん来訪。

小川智子さんの案内で、若い婦人の通訳をつれて。十二時までいっぱら、婦国連のこと評議員国のこと、私のWIDF副会長を病気のため辞任したいことに関し語る。来年の世界婦人大会までの気の毒だが副会長のポジションを空けておくわけには行かぬ外当任せられたし、そして、まず第一に婦国連の会長を選定し、その人をWIDFの副会長の後任して呼いたのも都合を見られた。博史の指導（ヒステス）や土佐弥のレスーペーパーを記念にさしあげる。

なかくすぐれた婦人運動者としての共賞人と思はれた。強い世話がなく強硬的である、それをいてやましきれ、こまやかさもありフランスとつしかしがした。

二十六日　許広平さん午前十時より十二時まで

丸岡、カリの案内で見立る。私の病気見舞へと博史への書通の遺像のついたのに他のため遺であらう、びっしりとつまった日程でとんなに忙しく、疲れていられるであらうのにと感謝、感激にたえない。

九月　都栄、墨、魯迅先生の家族、日家族の家族などお出産を数多く頂く。

六日、博史のめくりあいいよ〳〵発賣される。（出来、全日外記事）

朝日新聞にあたりの家族入りで廣告が出る

初版六千。

七日　再版一千まで（ぎれ）書店あり

九日二十日

夜、WIDFより来電、ヒウロー会議は、十月三十日より十一月四日まで、至高ヴザを申込めとあり。

WIDFのスエズ運河問題についての声明を国内各婦人団体その他へ流す手続中。

七人平和アピール委員会で同様の問題について声明を出すように決定す。

むこジュクリームの広告に家族を出すことを諾、家族、広告文はついて、二五博部の私泉男氏と会談。

十月三日、九月二十四日付の手紙 WIDFの来記長ミネラ
女史より着。ローマで今月末日より開く秋山局
会議の件につき詳細、通知あり、議題は提示され、
又私健康あしくお席不可能ならば、代理にお
人を指名せよとあり、早速羽仁さんに伴へるべ
く明日手紙ナラんた。
ミネラさんへは早く返事せさねばならない。

議題

一、北京会議の議題に基き、きなしえた協力の発展の結
果やそれについての経験の交換、一九五七年度
の事業の見通し

二 規約改正草案の討議。

十月六日 関鑑子氏来訪。ソヴェート婦人委員会の
リ[illegible]ア。ペトロヴァさんから ウズベキスタンから送
られた原稿料で買ったという、白シルクの刺
繍のある美しいブラウスとウルダイヤに人生の
カラ草のブローチを批ぶれ、際持ち下さった。
関さんは お頸のはれをソヴェートの病
院で切開され、いろ〳〵に心配の多かったらしいが、
少し、は元気で帰られたのはうれしいことである。
しかし、よたお見かけしたところたいぶんあくれて
おる、なかく根治は出来ぬものらしい。以後
家を新築にいいらない。奥村の指輪を注文
して頂かれる。鞍辺今には私は出席出来ず
議会に出る。ペトロヴァさんには明日手紙で来
しくい礼をしよう。
「めぐりあい」の書評を高群氏、中西氏にかいて
頂くことで、書評の山主さん、新め先の岡部さん
に交渉する。山主さんの方は高群さんの
原稿を引き受けられる。生田花をさんに「めぐりあい」
の広告ハガキ送る。
めぐりあい三版十部出版社から送ってきた

九日 WIDFミネラ女史より来電。ローマで
開かれる秋山局会議に出席する新代理の
名を知らせよとの依頼であった。いつもこちら
の返事がおくれて、手数のみかけのけい若しい
Please Confirm name Participant Bureau
stope inform Udi Via Conservatorio
5 Rome Angiola Minilla
早速浜氏に電話したが、二三日不在とのことで、すぐ
羽仁氏に連絡して電報送る。

十九日 魯迅死後二十周年記念事業の行は日、
北京の評議事さんへあいさつ手紙をあらうの
名で出す。早大で魯迅の記念 航空便 展覧
会あり、博史の魯迅遺作の油絵の写真を
引伸し、新しい新像を買ってみれて、出来する

日ソ交渉、今夜おそく、モスコウで調印される。
この宣言の批准は臨時議會を召集して、十一月に批准される筈、そう批准とともに動力発生。

二十四日　二十二日の奴国連稱すと評議員等集りで、羽仁氏にして行不安能のことはつきりし、高田氏が私の代理を引受けて下さったとするので、おっと一安心した。WIDFよりイジドとフェスツの規則改正議案今朝着く、四丁連高田氏へ速達便で送る。浜田氏へは評議員の会費十月より向う半ヶ月かゝって三千五百郵送する。千葉の私の為今後へ提案したいと四項目を書き送る。

一、水爆実験禁止の国際協定を一九五七年中に実現したい。

一、原爆戦の実際禁止をとこの國民に作らぬと

一、未加盟国全部の国連加盟、

一、一九五七年八月東京広島で開催する国連を世界連邦に近化させるものアジアアフリカ人民全体への奮闘の協力者がの要請。

二十九日　夜十一時、SAS（スカンディナヒヤ航空機）で高田有佐さん、私の代理として、ローマで開催の私の為会議に立たれる。

本日十二日照隆血で会議遅れ、伊藤和子さんの告別式昨日世界花で行けれた。

十一月

九日、七日戸田井に行く。長く姉上になのみ、戸田井の神床に参って、毎日おかんで貰っていた奥村家の代々の子霊を成城の家へ、新に子つた和さんと一緒に口迎えするため行ったが、今日幸い雨も晴れたので、姉上、千世子と三人で和様と子霊さんの宮を出って帰る。夜、姉上が参主となり、お饌めのお客をする。

、水から、この九日を月次祭の日として お祭りすることになる

久しく心にかゝっていた立かようやく立来て、安心した。何となく心のしく落付きを感じる。

十二日、随筆サンケイに明治の女についての原稿をあれ、今ようで引立つける、二月中のものメ切が日一杯、（一、二日の猶豫あり）四万字流の枝以内。酒呆部長石井正弘、千代は正大年町一丁目産業経済新聞東京本社、出版局出版酒呆部「随筆」今日の時間は風呂開いる。

十日、ローマで開かれたWIDFの私の為会議に私の代理として出席された高田有佐子さん帰られる。

二十六日、長年関病生活をつゞけて見た山本菊子さん今日午后三時遠に永眠さる。七十三歳。博史和に代って黄白の菊の花束をもって弔問。青稲社の職員各位に連絡をとり。

十月廿日付浜田条衛氏ちのW-DF評議員辭任願いの当部便のコピー。

高田さんも支障なく出来ることになられ、これでW-DFの重大な事務時代すれ当分ないのと一安心しました。

私は八月以来、いろいろと考えましたが、自分が評議員であることは、いろいろのことから批判して適当でないという結論に到達いたしました。

これ以上評議員の任務に止どまることは自分の魂にも逆いたとるものと思います。

先生をはじめ全評議員の皆様には誠に申し訳けない次第ですが、私の気持を何卒ご理解下さいまして辭任をお許し下さるよう御許り下さいよせ。

十月廿日

浜田条衛 印

W-DF副会長
平塚らいてう様

十二月八日 ソウエト婦人社より来電、

来年二月八日の国際婦人デーに就いて、又平和進歩勢力の成長にとってのこのお祭の意義に就いて世界の婦人の考をのせる計畫をすゝめています。

これには婦人デーのスローガンと行事の模様もかいて頂きたいとおもう。原稿は管潔に、また先生の寄与もそえて、十二月三十日までに着くように。あて先は

MOSCOVA KUZNETSKII MOST 22
HENSHUCHO OFUSHANNIKOW

早速、婦国一連事務局に移送する

十二月二十六日

国際婦人ソウエト婦人編集長宛送る、なほ送つた旨の電報を、小川智子さんに出してもらう。電報料の内通して千象員担した。

年内に先日の寄生通り出せなかったのは残念至極。

一九五七

一九五七年一月

二年ありでお正月を成城の家で家族一同と迎え、お屠蘇を祝った。一昨年は昨年は逗子で新春を迎えたのだったか……。からだの調子は昨年正月よりはいくらかよいように思い、今年は元気を出したいと念じている。

年賀状を頂戴とう(倍)全部に、御礼とともに賀状を出すことができたのは、多少元気になった一つのあらはれでもある。

若沖筆群鶏図の一部をとった絵ばがきを平和運動団(伊東)体から新賀用に賣ったので(運動資金の一部にあるため)私はそれを使用した。百五十枚程度ですんだ。

九日、小林登美枝氏と理論社の編集部員小川道明氏来訪。性道徳に関する新の文集発刊のこと法定、補足する原稿のことなど話し、打合せる。四月頃お嫁の予定で、二月より着手の筈。帯刀氏に好会に勤せん原稿をしらべて頂くことを新年身代することを約す。

十五日、片瀬二九二八さくら塾の辻信彦塾長夫妻の口好意をうけ、この冬中を口女法になるつもりで、夕五時過ぎ、博史とともにさくら塾に着く。二階十畳の部分に落着く。龍に寺前の静寂ところで、江ノ島海岸まで五分の距離。この冬はとこへも行かず自宅に引籠っているつもりたったのを、明生の配慮まで他事が辻去妻の口頭で、この地あたくかきしよき地を見れば此に捨えない。

二十一日　名賀一族近に宴を長来訪。一泊。

二十四日　江崎氏来る、江崎拓北に手紙、平和境の為（迫津永祐、中佳永祐氏に）

田を売り、山荘の金を中金より借りて引かへす。江崎氏島を一じゅんしたわけ。

階段が多かつたので、一歩、一歩慎重に足をかけて

登つた。時の義例にあたる平和塔に近い江崎銀の方は静で、大平洋を望み、一泊するに適する。

とおもつた。強たくが来て平和塔にのぼらせない

と言う。エレベーターでもあるのはわかればけれど、私は

元気がまだある。おちいちゃんと一緒にすることこそ

さんかくの思いたのしさ。名物をうる店で名刺と

のパイプの大きい長いのを買つけた、次に来たときに

買つて貰うに使ぶ。

二十六日　博史上京、平和塔、限会主催の音楽会

が日日の如く大盛況であり、嬉しき事。野家

より帰ると、和川新さん玄関に私を待つていた。

明日、国近後援会に日本女流代表、宮山さん

と薩野さんの歌を今日のこと、W・しより抗

清水の踊り家来たとのこと、ゆゆ（和美）より。

三十日　産経新聞より我広島の「隠者」二月号の行評

五〇〇〇送られる。「明治つおんな」

新近き、梅の花本、花一輪開く。

三十一日　金沢市へ

敦史　我法十年の研究の成果により終に工学博士の学位を授与される、今日午后一時に授与式早稲田大学本部で行はれる。朝早く、家の敦史あて、祝電を送り、日付に近い学園の明生にて電報で通知する。夕食時博史と共にいばらの祝い（家族）にビールで祝杯する。戸田井の姉さまに七十二歳の誕生日のよろこびとともに、このよろこびを通知した。姉さんの方地来訪をすすめておいた。昨夕医よへ誘つ（また）たけれど、後に来ると云うので、今年はぜひとおもう。

夜分、近所のマッサージ師を呼び、博史まず法度をうける。

二月一日

梅花三輪ほどようやく開いた。今朝はこの地には珍しい寒さ。庭に薄氷する。

午後中マッサージを続ど一年ぶりでしてもらう。頭はお喜ばず凝つていて痛い。今夜には思いきつて鍼をして見よう、何と位強かりと考える。

明生より来書。移転延期ところ、敦史の内定とのこと。やるとすれば、その時上京するとのこと。

三日　朝より細雨、寒さきびし。沼野健美氏数通より来信。夜は大雨、北風強く、ソつとなくひえる。節分でさくら塾でいと豆よきする。敦に手で午后二時豆まき式挙行すると行つて

見るうちに雪あられまで、一歩も外出せず、
終日引こもる。さて塾在学生徒多数参会。

1938年
四日　立春、今日より塾の、後藤家の子供の
治療をはじめる。午前と夜新寝前と
二回する。あまり熱心ならず、とてもおとなしいのは母の外でも。
今日の食費四円三十銭塾の奥さん
に渡す。
新史日立に常盤炭鉱と日本水素の工場
見学に、一月三十一日学徒接待式あり夕刻
出立したりにて出発きらハかき着。

五日、治療の効果は室外に早く、昨夜はおねしよ
しなかったに、大に力を得た。しかし腸を刺激しん
からであろう。大便の方をしくじった。この子は孔門
にしまりがなく、折々小便だけでなく、ごみ一カル失敗する
のであるという。効メニ回治療する、前日よりやはり。
六日、五日夜は極が苦しらしてあったが、ひどい事。
塾感前日より増す。大に有効。　昼食の
後は治療し、効果いちじるし。昨夜と今
朝と二回する。
キ行く。塾感早ければ効果多し、百金に
入れと見よ、高価でやって見るより低廉あり。
明生、来る九日、新の七十一回の誕生と新史の
学位授与の祝賀に上京する八分半着。

九日、夕七時、明生、正生、美子来る。正二は仕事
忙しく来られない。　明生が昨年の丁度今頃来
たときとは遠い進歩。少年らくらく明るく他家に
なじいたので安心。夜、辻夫妻、塾の後藤さん、新史の
夫人、新史の母上、
新史成城の家に午後二時外家族一同会食する。
博史は前日外高高に出ていたので、私は明生と
一緒に行く。中山一族はママの見かねる法なのと、他の
人たちは知々つかれとか一人も見えず、寂しい。
孫五人とそれぞれ遊んでいる。　夜竹内氏
来し、私は明生と共に帰る。

十一日、皆それ水族館を見る。
十三日　江崎おじさんに辻夫妻に高田まで一日で遊ぶ
十四日　新宿始発新宿、辻堂に行く。夜、辻夫妻歓迎宴をしてくれる。
十五日　朝六時明生と出発する。国連信令に行く三信出発、後藤さんの
明生　博史と分れに行き最後の移を見る。駅で別れ博史
は高高へ、私はさらに塾へ帰る。世紀新の学びとれず、法華
十八日　辻さんの奥さんと十五日に見のこしん
ゾラの居酒屋を見に行く。マリア、エルの、三人ヴァーズ
戸田井婦人にハガキ出す。
マロノリちゃん今日で四日続けて成功。
他の二人は今日で治療三回、効果いまだなし。
中耳炎は三回で殆ど全治に近い。

十五日よりマコトちゃん
十六日より

大森　八景園
鶴ヶ丘　新梅
大金山　江東百花園
深川　梅林　吉野山　桜林、摂津　桜山

十九日　博史始る。近衛佐藤さん[総理]、等らく[内閣]閣議始る

二十日　佐藤さん昨日のまをわびかたく辞表。

二十一日　午前博史、人間釋迦に出演の仲で上京、石井氏宅に行く。ソッこられ居るかわ[?]

原作（大法輪）にあるは法華きゆ。

二十二日　夜、日高氏おくる者多数。吉岡氏和アピール七人委員会から イギリスの三日一日のクリスマス島の水爆実験禁止要望のアピールを英国相マクミラン氏に送るにつき署名を求められる。

[illegible]

英国政府の外に英社会党党首ガイツケル（Hugh Gaitskell）にて法王（Pope）インド首相（Jawaharlal Nehru）国連事務総長ハマショルド（Dag Hammarskjöld）英のラッセル伯（Bertrand Russell）の諸氏にもそれぞれ元のまをは封して、協力を依頼した。

二十四日、明日国連に、常任理事国とする報告をしたイギリスの水爆中止の要望を相手方の[illegible]ことを[illegible]水爆実験禁止[illegible]を水爆所有国と国連に提案するを希望として申し出た。国連代表で北極を横断[illegible]初航空が今朝羽田空港（コペンハーゲンに行く）5月5日のスカンディナビア航空機一番機

2月24日　朝日夕刊　世界平和アピール七人委員会の英原水爆実験禁止要望

決議文を発表する（左）茅誠司氏（学術会議会長）と下中弥三郎氏（世界連邦建設同盟理事長）＝学士会館で

教育関係者七人で組織されている世界平和アッピール七人委員会では、二十四日午前十時半、東京神田の学士会館でクリスマス島の英国水爆実験に反対する決議を茅誠司委員から発表した。同委員会は前田多門（ユネスコ日本本部）茅誠司（日本学術会議）湯川秀樹（京大湯川研究所）平塚雲鳥（婦人団体）上代たの（日本女子大）植村環（YWCA）下中弥三郎（平凡社）の七氏が世界平和を念願として組織したもの。今回は水爆実験について英首相マクミラン氏あて抗議文を、ケイツケル労働党首、バートランド・ラッセル氏、ハマーショルド国連事務総長、ネール・インド首相、ローマ法王らに協力を要請したもので、決議文の要旨次の通り。

英国政府は日本の悲惨な経験に思いをいたされんことを願む。米国の実験は一日本人を殺し南洋原住民を殺した。被害は時間的にも空間的にも限定できない。広島、長崎では原爆症による死亡がまだつづいている。実験は全人類に害があると世界の学者が警告している。英国が実験を強行するなら、それは事実と警告を無視し、世論をふみにじるものである。

一番機けさ飛ぶ

北極回りSAS定期航空

羽田空港から　三笠宮ご夫

日本と北欧を結ぶスカンジナビア航空（SAS）の北極航路一番機「地球特急号」＝ダグラスDC－7C型＝が廿四日午前九時十四分三笠宮ご夫妻始め四十五名の招待客を乗せて羽田空港を飛び立ち、デンマークのコペンハーゲンに向った。

この日同空港では「地球特急号」の出発に先立ち八時すぎから国際十五番線で開通記念式が行われた。式場には和服姿のお嬢さんたちの手に持つ世界四十二カ国の国旗が飾られ、スカンジナビア航空のパー・カンプマン副理事のあいさつにつづき宮沢運輸相が新空路開通のテープを切って式を終了。宮が代、北欧三国国歌が奏でられる中を三笠宮ご夫妻を先頭に荒木運輸、山野郵政両次官、藤山日商会頭ら招待客が相ついで機上の人となり、午前九時十四分、コペンハーゲンに向った。

同機は途中アラスカのアンカレッジに着陸するだけで、一万三千キロを一気に飛び、廿五日午後四時十五分コペンハーゲンに着く予定。

一方、北欧からの東京向け一番機も廿四日午後七時半（日本時間）デンマークのアクセル殿下やハンセン首相、ノルウェー、スエーデン両国外相らを乗せ、コペンハーゲンのカストルップ空港を出発、廿六日朝東京に着くが両機は日本時間の廿五日午前六時半（グリニッジ標準時廿四日午後九時半）北極点上空ですれ違うことになっており、このさいハンセン首相が機上からメッセージを放送、お祝いの式があげられる。

二十七日　午後、原水爆実験禁止・阻止中央大会のためメッセージ準備

二十八日、午前十時共同通信社社長の来訪をイスメゴーに宮重陽を伴い事務所、四、五十分対談す。

数日来のつもりやっと短くかきあげた水爆実験禁止中央大会（三月一日豊島公会堂に開く）へのメッセージの下ごしらえを山宮氏にたのみより帰す。とこころの疲れで宮重さんにはあやまりたく、明後日の原水禁の代表の人選の相談。

夜、吉田さんの訪問をうけ、ひるがえって、何とか出席するようにすすめられる。

夜、吉田さんの訪問。しばらくの後、帰った。

二十九日　三月一日、昨日の表明より東京（東京）の会あり、郵便に以せ、お宮つかうことにし、本日電送。全国各地に配信したる由、明朝までである。

高野先生来訪、夜に入りまする。イギリスの学者が実験ーンシガポール和英について[illegible]

世界的に発表される。林博士の若き日にこれについて論れている。小さな世界を[illegible]

大阪の[illegible]墓を[illegible]と伝はして、[illegible]の[illegible]を[illegible]ける。[illegible]

の[illegible]に[illegible]れ、[illegible]を[illegible]する。

今日は[illegible]と、[illegible]、[illegible]られる。[illegible]のような[illegible]で、[illegible]。ヒロノリ、大[illegible]候。

午後[illegible]史に[illegible]ようかと考えていると、毛[illegible]

風ひそ[illegible]ていることの。[illegible]先生[illegible]

本[illegible]へ[illegible]がく。伊[illegible]に[illegible]

の[illegible]バガヤ[illegible]と[illegible]の二枚を送る。

明日午前中[illegible]

ビキニ三回[illegible]

クリスマス島水爆

阻止中央大会。

[illegible]

三月一日夜

[illegible]

木炭画（東京）川[illegible]

[illegible]

1954.3.2

英物理学者に訴え

水爆実験中止 湯川氏ら百八十一人

英国のクリスマス島での水爆実験には、国内で強い反対の声が上っているが、湯川秀樹博士ら日本の物理学者百八十一名が、その署名を添えて三月一日を期し英国の物理学者に実験中止を訴えるアピールを送った。

送られる英国物理学者の中にはノーベル賞のパウエル博士やコックロフト英原子力公社総裁を始めハートレー博士（ケンブリッジ大）バイエルス博士（バーミンガム大）フレーリッヒ博士（マンチェスター大）ブラッケット博士（ロンドン大）モット博士（ブリストル大、国際物理学連合会長）クールソン博士（オックスフォード大）など英国の世界的物理学者の名が見えており、このほか英物理学会や英原子物理学者協会など関連学会にも送られることになっているので、英国内に大きな反響を呼ぶのではないかと期待が寄せられている。

このアピールは二月廿五日以来在京素粒子論グループの若手が中心となって、理論物理学者だけでなく、広く日本の物理学界全般にわたって署名と協力を呼びかけていたものだが、すでに百八十一名という大量の賛成者が現われており、湯川博士はじめ朝永振一郎（教育大学長）武谷三男（立大）坂田昌一（名大）伏見康治（阪大）菊池正士（原子核研究所長）山内恭彦（東大）有山兼孝（名大）村地孝一（立大）豊田利幸（立大）の諸博士ら、日本の著名な物理学者のほとんどが名を連ねている。

湯川博士

アピールの内容は、同僚としての英国の物理学者に、国連に核実験の禁止を訴えた日本国会の決議を知らせるとともに、英国政府の日本政府への回答に見られる考え方が誤っており、ことにこれまでの実験による放射能灰の影響がすでに危険な量に達している点を指摘さらにこれらの実験が原子力の平和利用を妨げることを述べて、英国の同僚物理学者が、日本の物理学者のこのアピールに応えて英政府に実験を中止するよう働きかけることを訴えたものである。

四月六日、船橋洋二宅行バスで、博史と思い出の茅場へ行く。海岸に出、市川駅のあと、以参加のあとを追うのおちゃんに会、昔話に夢中になる。

四月十日　午前、庁舎を正味三ヶ月あまり引上げる

さくら塾を長去るまでの住職さん　お供さう
全員ちげての中田氏就任までの足どり。話者
てお別れの記念写真を撮る。
四月二十三日「田波氏来訪、成城の家の所望について意見をきく。
「衆議院予算委員会での　社会党の岡良
一氏と岸首相との応答。
岡氏―政府は大国の原水爆実験を無条件
させるべき筋合の答弁、責任制の実施
をを提唱しているが、このような新事態を
時代、あるいは国会などを無視して手続
きをかいて実験禁止に立ち上るべきときて
あると思うが、首相の所信はどうか
首相―全く同感である、実験禁止の大きな
理念を実現するため、あらゆる努力を
つづけ、国際的な世論を巻きおこして、相
手国の反省を求めたいと考えている。
対象としている大国が平和維持の名のもとに
原水爆実験を強行しているが、現実の
問題であるが、人類の破滅を防止するため
に、この実験禁止の理念をあらゆる有
効な手段と強い信念で貫徹したいと
思う。
岡氏―東京都議団を訪問したとき、イエドの
おゆうさん
ちゃんに会、昔話に夢中になる。海岸の風景の中で写真をとる。
永山首相との問題で全員直し、実験禁止
の決定に移る決意があるか、
首相―胸にあまる、東京都議の首脳と話し
合ってより来たい
岡氏―いかんして決定をとりつけるか問題だが、
国連憲章に基づき、アジア、アラブ諸国や
イタリーと協力すれば米国国連代表
を説得できるが、永久禁止の努力
で一致が、ビキニの水爆実験の
抗議力は米国にあるが、諸国はさい
米政府首脳と話し合う決意があるか、
首相―私の気持と全くは一致、各国アジ、米
国を説得

二十四日　宇佐、海鷹丸帰還。午後三時ごろの
でう乗組員は国歌を合に祝電を送る
「おめでとう、おめでとう、宇佐、海鷹丸のみなさま
ご苦労でした、アジのお仕事をおいそがしにすべて
よろしくと祈る」と。
午前十一時から市議臨時会出席に移て
帰港式挙行、それ[illegible]市内拡大ふみけ
たが、孫ちゃん市の元気は出なかった。何
となく全員世ずに、あれこれの感慨をあげて
帰国したことは誠に遺憾に堪ずる、本部側のあの

右寄附が出来るよう官民の協力が望まれてなない。

博史 大井治療所で本多兵美さんの治療をうける。義間弟が弟さんの配慮で、内科の本多さんに見て頂くことになったのだが、治療の結果は二十六日に[illegible]にわかる筈。

二十五日、下中弥三郎氏より今年道源老師の著書の評で通りあり。早速 稲井の母氏に知らせる。

五月二十五日付 マダムコットンよりの書簡 (俗文) (訳)

親愛なる友 年深らいてう様

FDIFのビューローを代表いたしまして、挨拶ゆんけます

原爆戦争反対、まず第一に核実験の続行反対を唱える婦人と母親たちの意志が作り上げた先日の会議の期間中、私共は貴方をと花ほど身近に感じましたことか。

一平野氏は私共いん貴方の提案を伝えて下さいました。そして私をビューローが採用したテキストに大いに役だてることが出来ました

右附り得しました。

こネラ アビジオーラ夫人 死の三日 二十五日付の貴方のお手紙によって日本婦人団体連合会の会長を健康上に都合でお辞めになったことを伺い心を痛めております。

会長をお辞めになった結果、仕事の負担を軽くなさって、蓋し心さ高血圧がよくなることを強く望んでおります。

私達は婦団連が、貴方が推せんして下さって有能な義間夫人を会長とすることを伺ってよろこえております。

そして殊に、この連合会がFDIFに加わることを決定したことを幸せに何ります。それは日本婦人が国際的連合に加入したという新しい力なのです。

FDIFの日本副会長の肩書につきましては、私はそれを決定なさる前にもう一とに考へ出しいたいきたいと存しております。現在のところ、貴方は大々的移動を行うことは不可能かと存しますけれど、おもなくそれは可能になるかと思はれます。私共は、貴方がFDIFの仕事に二年与えられたあれほどの輝しい仕事に深く感謝しております。そしてなほもに協力下さ

ることを以前に致し置くのであります。

私共は次回の会議に、貴方の連合会が指名した方、もし許されるなら義弟夫人をとくに日本代表としてお迎え出来れば、どんなに幸せでこさいましょう。以存知のことと存じますが、これはFDIFの次回の会議のことです。一九五八春の新しい事長即選出の会です。

代議員

貴方が其の時までに準備なさいますことを希っております。

終りに日本国民の不屈の努力が結実しつゝあることを非常に満足いたしております。それは核実験反対の日本法皇のお声明は日本代表訪問の直後に行われたのです。

私共の高い尊敬と友愛の心をお受けとり下さいませ。

ユーゲニー
コットン

七月四日

世界平和アピール七人委員会 第二次会が、ソウルの一番町のクラブ実東で正午から開かれる。

七日から三日間カナダで開かれる国際科学者会議に出席される湯川先生歴中心に集ることだったので、使者すぐれず当日お帝むづしいと思ったので、私は前々日クラブ実東気付で日高氏まで、手紙を連連で送っておいた。湯川氏への期待を待つん。

先の世界の科学者会議とコロンボ会議のアピールは対し、湯川氏には目にかけた。

出席者お後の結果 大人委員会外のメンバーが湯川先生に托すことになった。

六日朝、日高氏サインをそれ見えた。手紙内容は別に記す。

十四カ国の科学者が集まる

カナダで放射能討議

【パグウォッシュ（カナダ）六日発＝AP特約】米ソはじめ十四カ国の科学者は七日から三日間にわたって当地のイートン氏（米銀行家）邸で英哲学者バートランド・ラッセル氏主催による会議を開き放射能の危険について非公式な討議を行う。この会議には世界の著名科学者三十八名が招請され、出席者は三十名程度となるものとみられる。日本からも湯川秀樹博士ら四名も参加する。

湯川博士出発 湯川秀樹博士は六日午後七時羽田発のカナダ航空機で出発した。

湯川博士は、病後のやつれがまだいえぬ表情だったが「消極、積極の差はあっても世界の科学者たちは核実験の人類に対する被害を認めているのは同じ。たとえ一時的にせよ核実験の禁止ができるよう努力したい。会議の結果は何らかの宣言の形で世界に訴える」と語っていた。

なお日本からはすでに東京教育大の朝永振一郎博士、立大理学部小川助教授が去る三日カナダに向っている。

七月九日
安斎さんが
朝日にて
平和七人委員会
のアピール
を掲載
する。

まず一時的中止を

＝国際科学者会議＝

湯川博士、核実験で語る

【パグウォッシュ（カナダ）八日発＝AP特約】日本の湯川博士を
はじめ東西両陣営の十一カ国から
集まった二十四名の原子科学者は
八日、当地のマゾニック・ホール
で国際科学者会議を開いた。消息
筋によると会議はある種の声明を
発表する模様であるが、どのよう
な形をとるかはまだ決まっていな
い。ロンドン原子科学者協会副会
長のロットバット博士は「原子力
が人類に及ぼす危害を食い止める
ため科学者がなし得る方法を考え
たいものだ」と語っている。また
日本の湯川博士は核実験について
次のように語った。

湯川博士

われわれの第一の目的は、核実
験が果して安全かどうか科学者
が結論を出すまでの数カ月間、
一時的に実験を中止することで
ある。そこでもし実験が有害と
証明されたら、われわれは全面
的かつ永久的実験禁止を提案す
る。われわれは核エネルギーの
平和的利用には賛成だが、戦争
目的の使用には反対する。ほか
の国の科学者も日本の見解に共
鳴してもらいたいものだ。

平和利用の国際連盟を提唱

西独、日本にアピール

【デトモルト（西独）八日発ロイター＝共同】二十五万の会員を持つという西独の原爆反対闘争連盟（名誉会長シュヴァイツァー博士）は八日、とくに日本の原水爆禁止全国協議会に向けてアピールを発表、そのなかで核兵器の発展に反対し、原子力平和利用にあたって安全措置を確保するなどを目的とする国際連盟の結成を提唱した。

アピールはまた核兵器に反対する諸国間の情報交換、原子力の軍事利用に協力を続ける科学者の排斥などを訴え「がん迷でどしがたい」各国指導者を世論の前に屈服させるため、全世界的なストとボイコットを行うべきだと述べている。

長田博士所有の土地家屋場の所ん、田
沼氏の所有地、五〇〇万余にわたる二億
と見ることに一応決定。現在土所の移転
広先を新日みい。後任に決定する。
方法は、一四半の長岡行き行程路で湯桧書に決
七日十九日 行く。結部さんの今北の車で上野を送る
二宮、よく配事事の会社の湯桧書
帝花
方向である。水上が、バスで国鉄松花へ
第。

十九日 午後三時水上氏の電車で 出京、七時
上野着。
二十五日 午後五時、明生女児出生、予定
より一ヶ月早産なので手ビで、6.9 2.
の体重。だが、注射は強く点滴を
こと 美土と 名づけた。乳、又七時に
入浴。 安心した。出血少く乳出た。
二十六日 ロッ、明生より八かき。生の向
子を生みしあらぎたいて 遠蛙
二十九日、博史と戸田井に、又到来た。美沙子と会う
八月三日 博史出京、
六日 博史 長野市小出郵 長村十の家に内海
先生に迎えられて 行く。
到九五。（水上行）て 恍川のりか（一二、一九）電車で
長野原に行く（一三、四四着）ここよりバスで北信松坂
入口下車、均去年花まで 登り坂三十五分。
ここに三百坪はの土地を合流して 貰う。
見ケブンとりに出かけたもの
八月二十日 前夜午後笹沢の「人間革命」の抵抗
文を夜三時頃までかかって かいた、明日放送
窓ギワで 夜風にあたって 起きいたのかさわった
のか、発熱九度、ちょっと下痢を起し、
昨日 終日 床の中で 寝た。日高氏

○○○○
九月六日

より七人委員会の件で電話ありしも頭上こず。
山田わかさん、六日〇時二十分狭心病にて
永眠さる。先月来の下痢、発熱なかく全
快せず又ねているので、博史が朝のデンオ
をうるを知ると、早速私の代理で山田さん
の宅へ目前の大きな花束を供へる。昨日
に出かけられる。五日、NHKからの男人の時
の録音を終えたあと、充分わるく所に つまれた
その程逝かれたものよし。八日の告別式
にもこの分では行かれそうもなくまことに残念。
昨年秋、私の全快祝を中山宅でしたときお
目にかゝつたが終に最後となつた。

妙法大明院妙若日教大姉

十月四日

ソヴェト人工衛星の打ち上げに成功する。
世界最初のもの。
午后六時から武蔵野大文台で歓迎に大わらわ
である。人工衛星の電波をNKでは手中ツチし
た。
千葉の歓迎所で

一時三十五分で地球を一周する。
月を舞への旅りも夢ではなくなつた。

十月十四日

中山のママにともなはれ目黒の東大行保病
研究所付属病院に家より車で出かけ
る。博史もママの旧知の副病長伯野博
士の診察を二人がうける。十五日ママと徳子
来週月曜に心電図、血液、尿、子ありの便を
便の結果わかる筈。
検査のための特
集する。

十月二十五日

金木母子に「人類革命出版社会」に出席
の勧誘と成城の地所賣却の依頼の為挑出
す。

二十七日

電話金木氏よりあり。

二十九日

中国人王進伯さんと呉田先生のお家を
博史と見に行く、外側外なり。横田先生
は宅にいらしゃり呉田先生の御の賣價は七五
〇万ときく。
書道ぎ今成先生稽師と植本こゆう氏
来宿。今夕千代見送「高田先生所の東京
大邦宮で「人類革命」出版記念会
あり、そのたち福井より上京ケル、謝状を
かねあいさつに見えたもの。植本さんは
福井の生れで、日高氏と霊的に結
ばれ、同じ家に起れしてくれる不思議な
男人。、子世ばなれした美女で、洋風紅
張子を若く、美しくしたもしい、深紅の
洋装もよく調和し、来賓の側に奉し
[illegible]若者二部、百劉花
の都市の美子な顔を頂く。珍らせ
男人にあるものと大いに好奇かをそ、これ、
これにつけ日高氏の生活をいろ〳〵
意味し、興味あかつものをオリする。

今成師は皈宅命、土産土事なるので
夕刻電報をもつておよろこんの空氣を
送る。「心外およびいたし事、人業の自
由と仕合せのために、並しに元気で」
軽部清子さんに連達で土地賣却の
件をつきて依頼せます　その他
十一月　金木義宗さん、那須志麿さんにもおれのみする。

十一月五日　那須氏家と土地賣却の件で、連達お
送下さる。いしもらの口親切を深く心に
しみ感謝の限り。いろ〳〵は注意あり、一切
をは依頼することにする。

十一月六日　金木氏、中村裕という従堂にお住いの
方を同伴お送下さる。成城の父兄で、家が
ほしいとのお話。家はボロ家で役にたゞず、高倉
地をすべて地質であることを正直に話し、家をお
見てかけては断りする。博史の指摘に興
味をもたれ、早速明いカメネの指ワ一つは
求めてきる。

七日　朝金木氏より電話、十一時ころ、渋谷
某、西田某の二男を伴い来訪。渋
谷氏は労研関係の方で、家にか義武雄氏
等と農民文学をしてゝ下れ、詩もかゝれた
方とのこと、金木氏の親交の口方で、その方の

この日（七日）女子学院高等一年学生六名先生四宿住夫氏
に伴はれ来訪三十分あまり面談。善務、宗教、土地賣却の
儀ゆゑで、信頼出来る土建会社　土地賣却屋の
ブローカー西田氏を紹介して下さる。この方は
那須氏の知合とのこと。たゞかくこの件は那
須氏に幹旋方一切依頼した旨に話し、その
方にかいて頂くことにした。
金木氏より中山湖の買家（百万円）を買うよう
おすゝめける。好もしそうな家である。
なほ祈の宿気を感ぜ人の霊力を友に祈禱
してもらえとおすゝめらける。金子氏は霊的なる
に大きな関心あるらしく、この土地の賣買のとき
つゞいてその人に見て貰うたとのこと。何かも
親切の深さ、これがさにはいて感謝の外を
祈たすけれどういう実行力のある方ての援
助かたかん必要なのであらう。忘てよきように
道ずることをいて祈り、以礼するはかりです。

八日　那須さんより手紙で、なほいろ〳〵心構え
につきは注意あり。博史二通の書状をも
つて那須氏をは訪ねる。
一通の内容は、成城の土地家会賣却の幹旋
を那須氏に一任するということ、
他の一通は最低価値を取金千万円か
着置てあることをお合みおきてきいとのこと。

十九日、 博史と二人で戸田井へ行く。博史安達原を
二十三日の強大会でうたうにつき婦さんに
前のカキツバタの時のようにけいこ[illegible]
して世ろうなのと 利根河原の精景の色を
見たいため、[illegible]私の化立ものもなのみたいの
であった。二泊の事に至。

二十二日 すくめられて上ろと三泊、二十二日午前明家

二十三日 四谷若葉町の能兼公にて大会あり、
博史と一緒に行く。博史安達原をうたう
先づ世難ときく。七十二才の老婦人の
安定のお捜きあり。夕食を新宿の
十和田ですます。シヨウツルまことに佐構。

二十七日 平和区に七人委員会に立しあって出席する
前川博士の話をきく見たったが、流れのため
お見なく、鍛で新宿食事する。婦人科学
者の集まりを計画する。十二月に藤原氏の
後ちまり多くない自然科学者数名を招待
し、加藤学代氏に記付し、[illegible]クルーブを閲
[illegible]ことにしたいと思う。在来婦人科学者会
議に陥られるので、[illegible]丁度
よき機会と考えられる。

二十八日 午后二時四十分 藤原身が早くん羽田港に世事
帰られる。

三十日 明国連常幹の例会にて[illegible]十周年祝典
とWIDF執川局会議につき報告あり。
WIDFの詳議員の集りを早速に開き、前回
より報告をきくに大。

四阿高原（長野県）に〝平和村〟

50万坪の土地開放

地主の好意で 教会や山の家建つ

【上田発】信州菅平高原の近く四阿（あずまや）山（一三三三㍍）のふもと長野県小県郡長村の四阿高原五十万坪に、土地所有者である東京都文京区柳町一三「日本ホテル」経営者中村友喜氏（五三）の好意と文化人や宗教家の熱意によって国際的な〝平和村〟が生れ出ようとしている。国鉄バス菅平口から平和村まで四㌔の道がその開発第一次計画として、三十日現地で完工式をあげる。ここは信越線上田駅から北々東約二十㌔、浅間山、烏帽子岳などの上信国境連山をはじめ、遠く西にアルプスも見晴す景勝地。冬はスキーもできず、夏は優秀な避暑地でもある。

中村氏は米国セント・ジョーンズ大学院で国際私法を専攻、第二次大戦に応召してから語学力を買われて新潟、日立、鶴見、大阪各地で捕虜収容所長をしていたため、二十六年まで戦犯として巣鴨に抑留された。巣鴨にいる間に〝各国人が一緒になって平和に暮せる村があったら……〟と思いたった。

四阿高原の展望（手前がカソリック山の家、前方が双葉女学園の山の家）＝円内は中村友喜氏

結婚十五年目に長男秀喜ちゃん（現在三歳）が生まれたとき、この喜びを意義ある社会奉仕で生かそうと、土地の開放を決心した。地元の上田カソリック教会委員長荻野三代治氏や東京都世田谷区北沢三ノ一〇六七社会事業家和田順子さん（四九）らと相談し、長野県薬草園として三万坪、日本赤十字社に一万坪、横浜カソリック教会に五千坪をそれぞれ無償で譲り、さらにアメリカ、スペイン系の宗教団体、学校に土地を提供した。

この結果、去年から高原には横浜カソリック教会や双葉、光塩両女学園の山の家が建った。来年早々には日赤職員寮、聖心、聖霊両女子学院の山の家や文京区虚弱児施設なども建つ予定になっている。

土地代は全くの無償か、または道路や電話の架設費用として坪五十円から百五十円まで。東大文学部渡辺一夫教授も去年末、弟さんの名義で二百坪を坪五十円で譲り受けた。今夏ごろから土地をほしがる人がふえてきた

ので、和田さんらは中村氏の素志を生かすため、渡辺教授や評論家小松清氏ら文化人地主三十人で自治委員会を作り、都会の騒音や乱れた風俗を入れないよう新入居者の選定をも含む村の規約〝四阿高原憲法〟の作成が進められている。

構想によると、カソリック村を中心として日赤関係や林間学校、それに学者や芸術家たちの文化地区を作ってゆくという。中村氏の申し出で土地代も委員会で管理、道路整備などに使うことにし、これから電気と電話を引き、県の薬草園を植物園まで発展させる考えでいる。

荻野三代治氏の話 趣旨に賛成する人がふえてきたので、ほっとしています。今後入ってくる人を選ぶというのは排他的というわけではなく、趣旨に賛成する人なら喜んで迎えるわけです。

中村友喜氏の話 最初は〝国際宗教村〟をつくろうと土地をかけ始めたが、今後は委員会の皆さんの力でこの土地が静かな憩いの場になればよいと思っています。

朝日 昭和三十二年十月三十日 刊

十月三十日午後一時より四阿高原（の新道）開通式
道路完成、開通式あり、長村長倉島藏二氏と和田常務理事北条長中村友喜氏
の案内状来る。出席者多数にて高原道路を行
祝賀する。年年景色はよくなる高原道路
きたいものと思う（丸子電鉄真田駅より自動車
が我々よりも行ったとのこと）

拝啓　初冬の候益々御清栄の段お喜び申上げます
陳者かねてより御高配を頂きました四阿高原道路も愈々完通致し茲に開通式を致す運びとなりました
就きましては左記の如く道路完通記念祝典を新築の岡埜大観荘で催しますから御多忙中恐縮乍ら御臨席賜り度く右御案内旁々御都合お伺い申上げます

敬具

記

一、開通式　十一月三十日　午後一時
丸子電鉄真田駅に同日正午までに御光来頂ければ専用自動車お待ち申上げております
一、場所　長野県小県郡長村十ノ原　四阿高原　岡埜大観荘
尚準備の都合上十一月二十八日迄に御出欠の有無御通知下されたく御願い申上げます

昭和三十二年十一月二十五日

三日　義冒氏午后一時より来訪、夕六時まで執り局会議の報告を委しくきく。WIDFの評議員会早食に開かれる見込たゝぬ事まず私だけで先に報告をきくまつりしたのだった。

四日　昨日の義冒氏の報告を整理す、私二時半までかゝる

五日　小林とみ技さん来訪、早速WIDF執り局会議の報告を評議員諸婦に文書にして送ることを依頼す。

元朝日新聞出版部諸長をしておられた山本地栄氏同伴、訪ひして下さる。私の原稿出版のこと、新人「わたしの歩き道」を補出版す伴いつ手し抱歌を出した東方書院をいふ訪ひ下さるよう話。山本氏は若い頃代々木に住んでおられたが、それが渡辺伊都さんの家の近くで、私たち家族が伊都さんを訪問した事に供たちも今でもよくれたそうで、たいへんなつかしがって下さる。僕と本氏と高婚し渡辺さんと結婚された伊都さんのあの当時のことなど話に出る。

科学短信

◇パグウォッシュ会議参加者へ協力する会　去る九月十四日から二十一日までオーストリアのキッツビューエルとウイーンで戦争と原水爆反対の東西科学者会議――いわゆる第三回パグウォッシュ会議が開かれ、わが国からも湯川秀樹、朝永振一郎、小川岩雄、三宅泰雄、坂田昌一の五氏が参加した。この会議は東西のトップ・レベルの科学者が一堂に会して、原水爆戦争に対する抑止力となろうとしている点で注目されるが、坂田、朝永両氏らは旅費の大部分を自費で負担しているため、見かねた平塚らいてう、上代たの、兼重寛九郎、茅誠司、前田多門、下中弥三郎、植村環氏らが同会議参加者の救援のため募金運動を起すことになった。募金のあて先は東京都麹町局区内平凡社内「パグウォッシュ会議参加者へ協力する会」

一九五八年十二月一日　朝日新聞所載

一九五八年九月二十四日 朝日夕刊所載

パグウォッシュ精神の発展

戦争、絶対なくせ

核被害の防止 科学者の責任強調

【ウイーン＝奥田特派員二十二日発】十九日キッツビュールからウイーンに移動した第三回パグウォッシュ会議は廿二日で完全に幕を閉じた。二十日午前にはルネッサンス風の優雅なウイーン科学アカデミー大会議室でオーストリア大統領シェルフ博士も列席してキッツビュール会議の成果の報告が行われ、同日午後にはウイーンの近代的市民ホールに六千人の聴衆が集まり一般公開講演会が開かれた。二十一日には参加者は市内を見物、ソ連大使館のレセプションなどがあって閉会した。この会議の性格と意義、そして声明の内容についてはさらに詳しく報告する必要があろうと思われる。

一九五五年アインシュタイン博士とラッセル卿が世界の物理学者に呼びかけ「核兵器絶滅」ののろしが昨年七月カナダのパグウォッシュで開かれた第一回パグウォッシュ会議となった。この会議は米国の実業家サラス・イートン氏が全経費を負担した。第二回会議は今年の四月やはりカナダで開かれたが議事録を各国の科学者と政府の長に送っただけで声明は発表しなかった。今度の会議はカナダを離れてオーストリアで開かれたが、ジュネーブの原子力平和利用国際会議にすぐ続き十四日から開かれたため、これまでにない多数の科学者が参加しオーストリア政府、テオドル・コーナー財団、ウイーン市、イートン氏らが会議に惜みなく援助を与えた。そしていまも実に「パグウォッシュ精神」という言葉が生れた。この精神は最早消えることはないであろう。パグウォッシュ精神とはなにか。それは「人類を破滅に導く核戦争を防ぐには戦争そのものを撲滅する以外にはない」という根本思想に立って「国際協力が国家間の不信を取除く」ことを信じ「全世界の科学者がこの実現に参加し貢献しなければならない」と自覚する精神である。

キッツビュールではあらかじめ決められた「核戦争と核実験の結果に対する分析」、「軍縮の技術的な問題」、「軍縮の政治的問題」、「科学時代の生活」、「国際協力と科学者の責任」、「将来のこの会議の組織」といったテーマについてそれぞれ報告と討論が行われ、最後に継続委員会（この会議を継続させるための運営委員会）のメンバーであるボーウェル、ロットブラット、ラビノビッチ、スコベルチンの四氏が中心となって会議の結論である声明文が起草され、さらに全員で検討した後発表したものである。とくに軍縮問題のところではげしい議論の応酬もあったが、科学者としての相互理解と善意によって遂に了解の線を出すことが出来た。

声明文の字句についても随分やかましい吟味や討論が行われたという。声明（英文）は七章からなり、四千語以上におよぶものだが、その趣旨をなるべくそこなわないように要約しよう。

一、戦争をなくすことの必要性。

この会議に参加した科学者は危険な核兵器の発達に対して長いあいだ関心をいだき、大規模な核戦争はいまだかつてない大きな世界的破滅をもたらすであろうという意見で全員一致した。われわれの意見によれば核攻撃に対する防御手段はきわめて困難である。防御手段が可能だという根拠のない確信は戦争の発生をうながすことにもなろう。核兵器とその他の大量破壊兵器とを世界の兵器庫から取除くことに各国が同意したとしても、このような兵器をどうやってつくるかという知識は決してなくならないであろう。

将来のいかなる大戦においても交戦国は直ちに核兵器の生産に着手するのは自由だと考えるだけでなく、むしろ着手せざるを得ないと考えるであろう。われわれはこのような状態では大きな工業国家が核兵器を貯蔵しはじめるのは一年とかからないであろうと信じている。平時においてそれを使わないという協定を結んでも核兵器の決定的威力のためにそれを使いたいという誘惑にはほとんど打勝てないであろう。とくに敗戦に直面しつつある指導者にとってはそうである。従って核兵器は将来のいかなる大戦においても使用され、その恐るべき威力をいかんなく発揮するであろう。限定された目的をもつ局地戦争はこういう破滅をもたらさないと示唆される。しかし、この大量破壊の時代においては局地戦が大戦へと発展する危険があまりに大きいことは歴史が示している。人類は従って局地戦争を含めてあらゆる戦争をなくす仕事をはじめなければならない。

二、軍備競争を終らせることの必要性。

軍備と兵力の縮小に向う歩みはどんなに小さくとも望ましい。この方向に向うすべての歩みとくに最初の一歩となろう。

どんな軍縮協定でもそうだが、とくに核兵器の軍縮協定の場合には考えられる協定違反から相手国を守るために管理の手段を講ずる必要のあることは一般に認められている。科学者はある場合には有効な管理は比較的簡単だが、ある場合には非常に困難だということを知っている。たとえばジュネーブの専門家会議は適当な観測所網によって核実験を調べうるという点で意見が一致した。しかし現存の核兵器の貯蔵量を完全に知ることは技術的に非常に困難な問題である。核兵器製造停止の協定はこの二つの両極端の例の中間に位する技術的困難さの問題を提起する。

三、戦争は何を意味するか。

この会議に提出された報告や論文は将来の戦争でもしこれまでに製造された核兵器の大部分が都会を目標に使用されたら交戦国の文明の中心は完全に破壊されその人口の大半は亡ぼされるだろうということを示している。その兵器の破壊力が大部分融合反応からたされるもの（いわゆる「きれいな」爆弾）であろうと主として分裂反応からたされるもの（いわゆる「汚い」爆弾）であろうと同様であろう。「汚い爆弾」の大量使用による局地的荒廃は攻撃された国の人口の大部分に死をもたらすであろう。非交戦国においても放射能の急激な作用のために数百万の死が起るだろう。

さらに白血病、骨ガン、寿命短縮のような生物学的効果ならびに遺伝的影響によりあらゆる場所の人間と生物に対し重要な長期にわたる放射線障害を起すだろう。

四、核実験による障害。

遺伝的被害の大きさは自然の原因によって起る遺伝障害に比べて比較的小さいけれども国連科学委の報告によれば核爆発実験の放射能による白血病と骨ガン患者数はこれらの患者の自然発生数に対して意味のある増加を示すだろう。この結果はこれらの影響は極微量の放射線量によっても起り得るという仮定（この分野のすべての権威が支持しているわけではないが）の上に立っている。ようなな不確実はさらに広範な研究を必要としているが、やがてはこの最も悲観的仮定に対し慎重な承認を要求するであろう。それは人類が不必要な放射線にさらされることは好ましくなくまた避けるべきであるという一般に受け入れられている結論を強調するものである。

五、科学の国際協力。

われわれは科学者として国家間の信頼と協力を確立する方向で重要な寄与をなすべきだと信じている。科学は長い間の習慣により国際的緊張緩和と軍備競争終息に向う

際的な仕事である。

幾つかの国際的科学の企画がすでにかなりの成功を収めている。気象科学における一世紀にわたる世界的な協力、七十五年前と三十五年前に行われた国際極地観測年それに現在の国際地球観測年および原子力平和利用会議をあげておこう。われわれは国家において制限のない科学知識の交流と科学者の広い交換が行われることを要望する。われわれは科学の発展を秘密にすることによって国家の安全を図っている。国家は平和な科学の進歩による利益を一時的な利益のために犠牲にしているものだと信じている。

六、平和のための技術。

世界の低開発国家群における極端に低い生活水準が国際間の緊張の原因でありまた原因となるだろう。われわれはこれらの国の友好に工業化の研究と計画を進めることが焦ビの急だと思う。これは単に世界の大半の生活水準を引上げるだけでなく高度に工業化された強国の間の争いの夕ネを減らすことをも助けるであろう。

七、科学者の責任。

われわれは科学の未だかつてない成長によって与えられた危険と潜在力の広い理解を国民の間に広がらせ、国民の教育に寄与することがすべての国の科学者の責任だと信ずる。科学者は国防に対する彼らの貢献を称賛されるか、大量破壊の兵器を発見し人類を危険に陥れたことによって非難されるか、いずれかである。多くの国々で科学が現在楽しんでいる物質的支持の増加は主としてそれが直接または間接に国家の軍事力増強に対する重要性と軍備競争における成功の程度によっている。それは人類の知識を増し、すべての人の幸福のために自然力に対する人類の支配力を増すという科学本来の目的からそらされている。

われわれはこのような状態にたち至った条件を検討しすべての国民とその政府に対し永続する安定な平和の状態を確立するよう訴える。

朝日 58.12.5

"国連推定"の二倍に

放射性物質の降下量

塩川、三宅氏が発表

「原子力時代の人類への放射線影響に関するシンポジウム」は五日、東京上野の学術会議講堂に日本の関係学者約一百人が集まって開かれたが、その席上、気象研究所の三宅地球化学研究部長と塩川静岡大教授は核爆発実験による放射性物質の降下量が昨年よりふえており、今後十年間に地上に蓄積される量は、国連の科学委員会が推定した量の二倍になるとの新説を発表して注目された。

三宅研究部長

三宅部長の説明によると、今年六月末で日本の東京に蓄積したストロンチウム90の量は一平方キロ当り、一一・三ミリキュリーで、昨年の同期より三ミリキュリーふえている。たとえ今後実験が中止されたとしても、国連の科学委員会で十年後のストロンチウム90の蓄積量を一平方キロ当り二十五ミリキュリーとしたのは小さすぎ、少なくとも倍になると考えるのが妥当であるとしている。

また静岡大の塩川教授は、地上に降下した放射性物質の量は静岡の場合、昭和三十年の一日当りの総平均を一とすると、ことしの十一月末には二十五倍になっており、昨年に比べても三・一倍になっている。このほか最近の放射性降下物で注意しなければならぬことはネプチウム二三九のふえていることである。ネプチウム二三九はいままで半減期が二・三三日であるところから無視され勝ちだった。しかしこれはベーター線を出すと自動的にプルトニウムに変る。プルトニウムの半減期は二万四千余年であり、人体に危険なアルファ線を出すから、もしこの調子で蓄積するとすれば無視することができないと述べた。

塩川静大教授

関公使ら帰国の途に

【ロンドン五日発＝ロイター】五日の夕ス通信によれば、関公使を団長とする訪ソ・日本貿易代表団一行は同日モスクワを出発、空路帰国の途についた。

新しい東宮御所の設計図がようやくできあがった。東京工大谷口吉郎教授の設計で、鉄筋コンクリート二階建、建物の広さは三八六四平方メートル[illegible]式会見や公けの宴会などに使われる表公室の裏側には約六〇〇平方メートルの池があり、建物の一部が池の上に突き出してアカ松、[illegible]

十二月十三日

辻信彦、時子夫妻、女児出生、のぞみと命名されたし。めでたし、新幸多かれとのる。

十二月二十八日

築橋一家上京、三十三年一月六日まで

帯在

廣
應伊之亦 通訳广募者 高良氏令嬢女人）
笹岡璠瑞子 品川区南品川三ノ一五一七
樫部多枝子 大田区山王五二ノ二、一七二
（Tel (76) 二六七五）